

# 神田みどり保育園外壁等改修工事

意匠図							
A-01	改修特記仕様書(1)		A-16	断面詳細図	1:50		
A-02	改修特記仕様書(2)		A-17	プール平面展開図	1:50		
A-03	改修特記仕様書(3)		A-18	プール断面図・断面詳細図	1:30/1:10		
A-04	改修特記仕様書(4)		A-19	既存建具配置図	1:100		
A-05	改修特記仕様書(5)		A-20	建具表1	NO SCALE		
A-06	工事概要・付近見取図・配置図	1:200	A-21	建具表2	NO SCALE		
A-07	仮設計面図	1:200					
A-08	1階平面図	1:100					
A-09	2階平面図・屋根伏図	1:100					
A-10	断面図	1:100					
A-11	北・WC立面図	1:100					
A-12	西・東立面図	1:100					
A-13	南・階段・滑り台立面図	1:100					
A-14	1階天井伏図	1:100					
A-15	2階天井伏図	1:100					

2024.04	
神田みどり保育園外壁等改修工事 特記仕様書	
I 工事概要	
1. 工事場所	高知市 神田47番地4
2. 工事種目	【 園舎 】 鉄筋コンクリート造 2階建て 延べ面積 539.94 m <sup>2</sup> 1) 外壁改修 一式
3. 関連工事等	・電気設備工事 ・機械設備工事 ・ガス設備工事 ・昇降機設備工事 ・植栽工事 ・合併処理装置設置工事 ・外構工事
4. 別契約工事	神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事 神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事 機械設備工事 神田みどり保育園2・3歳保育室トイレ改修工事 電気設備工事
5. 概成工期	・完成期限の( )日(令和 年 月 日)
6. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)	令和 年 月 日からは、全ての室内部分を使用する。
II 建築工事仕様	
1. 特記仕様	1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の( )内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の( )内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の( )内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
2. 適用基準等	図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁営繕部監修の以下による。 ・公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ※公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ※建築工事標準詳細図 (令和4年版) ・敷地調査共通仕様書 (令和4年版) ・建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)
3. 「週休2日制モデル工事」の実施について	◎対象 (・発注者指定型 ○受注者希望型) 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする「週休2日制モデル工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制モデル工事」実行要領(営繕工事編)による。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html)
・対象外(理由: )	

項目	特記事項
一般共通事項	
① 工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注, 変更, 完成時)	登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズテクリス登録等に関する規約」による。 [1.1.4]
2 総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。
3 総合図	工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承認を受ける。 [1.2.3]
④ 工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 [1.2.4] また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。
⑤ 工事写真	工事写真は1版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙) [1.2.4] 撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。 デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国営建技第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による。
⑥ 下請負者の報告	各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。
7 電気保安技術者	適用する。 [1.3.3]
⑧ 施工条件	施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。 [1.3.5] ・施工順序 ・図示 工所用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲内 ○ 図示 その他の施工条件 ○資機材の搬出入時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで徐行する。 ・登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。 ◎12:30~15:00は午睡のため、大きな音及び振動を伴う作業は行わないこと。
⑨ 交通誘導警備員	交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。 配置人員等 ・令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間は 名常駐する。 ・作業日は 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ○監督職員と協議し、適宜配置する。

項目	特記事項
⑩ 工事安全計画書	配置人員の資格 ・1名以上/1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。 ※交通誘導に関し、1名以上/1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。 資格要件 1, 2級交通誘導警備検定合格者(交通誘導警備員A) 1人 交通誘導に関し、専門的知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B) 10人 なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。 労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。
⑪ 統括安全衛生管理義務者の指名	
⑫ 発生材の処理	産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、 [1.3.12] 事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場での処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする) 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分(埋立処分、海洋投込処分又は再生)を終了しなければならない。 また、産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのE票の写しを提出する。 ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、監督職員が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとする。この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・引渡しを要するもの ( ) ・現場再利用を図るもの ( ) ○再資源化を図るもの ( ※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート ) 特別管理産業廃棄物の施工計画書 ※行う ・行わない 分析調査 ※施工計画書の結果により、監督職員と協議する。 ・行う ( ) ・行わない ( ) ・PCBを含む機器類 ・変圧器 ・コンデンサ ・蛍光灯, HID灯具の安定器 ・その他 ( ) ・PCB含有シーリング材 ・廃油 ・酸液 廃アルカリ ・臭化リチウム水溶液 ・電池の溶解液 ・ダイオキシン類
⑬ 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出(請負金額100万円以上)	再生資源利用(促進)計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成し、提出は以下による。 a) COBRISについては、建設副産物情報センターのホームページ(http://www.recycle.jacic.or.jp)より、利用申請等を行うことができる。 b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式1)を、完成資料として監督職員に提出する。 c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)を、完成資料として監督職員に提出する。 d) 受注者は再生資源利用(促進)計画書(現場掲示用様式)を工事現場の見やすい場所に掲げること。 e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後5年間保存する。
⑭ 工事の保険	工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。
⑮ 契約保証	※金銭的保証方式 ・有 ○無
⑯ 前払金支出割合区分補正	
⑰ 証明書の提出(グリーン購入法)	「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。 [1.4.2]
⑱ 石綿含有建材の調査	事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる [1.5.1] 事前調査範囲 ※改修範囲 資材と資料 ※有 (○既存の設計図書 ○石綿含有分析調査報告書(外壁・軒天)含有無) ・無 分析調査 ※書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。 ・行う (調査建材使用部位 調査建材名 検体数 ) 分析方法 ※定性分析 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。

項目	特記事項
⑲ 施工数量調査	調査範囲 ※図示 ○改修範囲の外壁、軒天、パラペット [1.6.2] 調査方法 ※外部足場を使用した目視及び打診 破壊部分の補修方法 ※現状に復旧 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その調査の結果等を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告する。(必要に応じて写真等を添付する)
⑳ 技能士及び技能資格者	※適用する(○:1級, ●:2級) [1.7.2][1.7.3] 工事種別 技能検定の作業の種別 ○仮設工事 ※●とび作業(又は足場組立作業主任者) ・鉄筋工事 ※○鉄筋組立て作業 ・コンクリート工事 ・○コンクリート圧送工事作業 ・○型枠工事作業 ・鉄骨工事 ※●とび作業 ・ブロック・ALCパネル工事 ・○コンクリートブロック工事作業 ・(単一)エーエルシーパネル工事作業 ○防水工事 ・○アスファルト防水工事作業 ・○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・○合成ゴム系シート防水工事作業 ・○塩化ビニルシート防水工事作業 ・○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・○FRP防水工事作業 ・石工事 ※○石張り作業 ・タイル工事 ※○タイル張り作業 ・木工事 ※○大工工事作業 ・屋根及びとぎ工事 ・○かわらぶき ・●スレート工事作業 ・○内外装板金作業 ・金属工事 ・○鋼製下地工事作業 ・(単一)金属製バルコニー工事作業 ・左官工事 ※○左官作業 ・建具工事 ・○ビル用サッシ施工作業 ・○木製建具製作 ・○ガラス工事作業 ・カーテンウォール工事 ※○金属製カーテンウォール工事作業 ○塗装工事 ※○建築塗装作業 ・内装工事 ・○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・○壁紙作業 ・○カーペット系床仕上げ工事作業 ・○畳製作作業 ・○ボード仕上げ工事作業 ・植栽工事 ※○造園工事作業 ○その他 ○○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・○家具手加工作業
21 化学物質の室内濃度の測定	化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、 [1.7.9] 報告書を監督職員に提出する。 ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける連報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。 測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。 測定方法 ※厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。 測定対象化学物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン ※スチレン ※パラジクロロベンゼン 測定箇所 ( )箇所 施工前・施工中(計 回測定) 測定対象室 ( ) なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。 1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となったことが確認された場合。 2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。 3 濃度測定が、使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。 本工事の引き渡し後、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。 また、本工事の施工が原因となって、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。
22 直接仮設の養生	内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。
㉓ 建築材料等	本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」と特記されたものについては、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。 ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。
24 特別な材料の工法	県内産資材の優先使用 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。 注1: 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。 ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。 注2: 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。
25 風圧力	本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したのとし、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速(Vo): ※ 38m/sec ・36m/sec 地表面粗土区分: ※ III ・II
26 仕上面の隅処理	内外部とも仕上隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部(家具を含む) 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																			
27 事業損失補償 ⑳ 完成時の提出図書	※現場説明書による。 ・完成図(作成範囲・配置図・平面図・立面図・断面図・仕上表) [1.9.1][1.9.2] ・完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等)・しない) [1.9.3] ・保全に関する資料(提出部数 ※2部・部) [1.9.3] 上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。 また、工種別下請負者の一覧表を提出する。 ① 施工図、施工計画書 [1.9.2] 提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	5 監督職員の備品等	②.4.1 <table border="1"> <tr><td>備品の種類</td><td>机・椅子</td><td>書棚</td><td>黒板</td><td>PC</td><td>掛時計</td></tr> <tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>枚</td><td>台</td><td>個</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>温度計</td><td>ゴム長靴</td><td>雨がっぱ</td><td>保護帽</td><td>懐中電灯</td></tr> <tr><td>数量</td><td>個</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>衣類ロッカー</td><td>冷暖房機器</td><td>消火器</td><td>湯沸器</td><td>加入電話付原器</td></tr> <tr><td>数量</td><td>人用</td><td>台</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>掃除具</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数量</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計	数量	組	台	枚	台	個	備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	数量	個	足	着	個	個	備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付原器	数量	人用	台	個	台	台	備品の種類	掃除具					数量							絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2]			
備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計																																																			
数量	組	台	枚	台	個																																																			
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯																																																			
数量	個	足	着	個	個																																																			
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付原器																																																			
数量	人用	台	個	台	台																																																			
備品の種類	掃除具																																																							
数量																																																								
29 完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 <table border="1"> <tr><th>位置</th><th>分類・規格</th><th>撮影枚数</th><th>部数</th><th>原版の大きさ(mm)</th></tr> <tr><td>・各室</td><td>手札版(L版)</td><td>※2枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・100×125以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>キャビネ版</td><td>※4枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・24×36以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>半切パネル(木製枠※アルミ枠)</td><td>※1枚・枚</td><td>※1部・部</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>スライド</td><td></td><td>※1部・部</td><td></td></tr> </table> カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等に提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質:標準 画像サイズ:1024×768ピクセル程度	位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)	・各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上	・外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上	・外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部			スライド		※1部・部		⑥ 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ①利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ②利用できる (※有償・無償) ※利用できない	4 改質アスファルトシート防水	屋内防水 [3.3.3][表3.3.10] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>保護層</th></tr> <tr><td>・P1E</td><td>・E-2</td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr><td>・P2E</td><td>※E-2</td><td></td><td>・設けない</td></tr> </table> E-1の場合で工程3を行う場合 ※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部分 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 平場の保護コンクリート ※80mm以上 [3.3.5] こて仕上げの場合 床タイル張り等仕上げの場合 ※60mm以上 コンクリートの仕上げの平坦さ ※a種 ・ b種 ・ c種 [3.3.5][表8.1.5]	工法	種別	施工箇所	保護層	・P1E	・E-2		・設ける	・P2E	※E-2		・設けない														
位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)																																																				
・各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上																																																				
・外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上																																																				
・外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部																																																					
	スライド		※1部・部																																																					
工法	種別	施工箇所	保護層																																																					
・P1E	・E-2		・設ける																																																					
・P2E	※E-2		・設けない																																																					
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表 ・図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 ・図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強	⑦ 仮囲い	※原形の復旧 ・良土にて設計地盤まで盛土整地する。範囲(図示) 厚さ( ) [2.5.1]		防水層の種類 [3.4.2][表3.4.1~表3.4.3] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> <tr><td rowspan="3">・M4AS</td><td>・AS-T1</td><td></td><td></td><td>・高日射反射率塗料の適用</td><td>※製造所の指定による</td></tr> <tr><td>・AS-T2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・AS-J2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="3">・M3AS</td><td>・AS-T3</td><td></td><td></td><td>・高日射反射率塗料の適用</td><td>※製造所の指定による</td></tr> <tr><td>・AS-T4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・AS-J1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="3">・M3ASI</td><td>・ASI-T1</td><td></td><td>JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材</td><td>・高日射反射率塗料の適用</td><td>※製造所の指定による</td></tr> <tr><td rowspan="2">・M4ASI</td><td>・ASI-J1</td><td rowspan="2">種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号 厚さ: mm</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">改修用ドレン・設ける・設けない</td></tr> <tr><td>・P O A S I</td><td></td></tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考	・M4AS	・AS-T1			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	・AS-T2					・AS-J2					・M3AS	・AS-T3			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	・AS-T4					・AS-J1					・M3ASI	・ASI-T1		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材	・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	・M4ASI	・ASI-J1	種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号 厚さ: mm		改修用ドレン・設ける・設けない	・P O A S I	
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考																																																			
・M4AS	・AS-T1			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による																																																			
	・AS-T2																																																							
	・AS-J2																																																							
・M3AS	・AS-T3			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による																																																			
	・AS-T4																																																							
	・AS-J1																																																							
・M3ASI	・ASI-T1		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材	・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による																																																			
	・M4ASI	・ASI-J1	種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号 厚さ: mm		改修用ドレン・設ける・設けない																																																			
		・P O A S I																																																						
⑳ 撤去部分 ㉑ 不当要求等への対応	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。 暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次に従う。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	⑧ 仮設備撤去後の整地・跡片付け	① 降雨等に対する養生方法 ※3.1.3(5)による [3.1.3] 2 既存下地の処理 既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※図示 [3.2.6] 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理 ※図示(図示のない場合は監督職員と協議による) ・製造所の仕様による		防水改修工事																																																			
	<table border="1"> <tr><th>補強種別</th><th>内容</th></tr> <tr><td>貫通孔、開口部の補強</td><td>梁 壁 スラブ</td></tr> <tr><td>壁切込み及び補強</td><td></td></tr> <tr><td>天井切込み及び補強</td><td></td></tr> </table>	補強種別	内容	貫通孔、開口部の補強	梁 壁 スラブ	壁切込み及び補強		天井切込み及び補強		⑨ 防水改修工事	1 屋根保護防水 防水層の種類 [3.3.2][3.3.5][表3.3.3~表3.3.6] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材の厚さ</th><th>絶縁用シート</th><th>立上り部の保護</th></tr> <tr><td rowspan="2">・P2A</td><td>・A-1</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">厚さ: mm</td><td rowspan="2">※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上</td><td rowspan="2">・乾式保護材</td></tr> <tr><td>・A-2</td></tr> <tr><td rowspan="2">・P1B</td><td>・B-1</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">・図示</td><td rowspan="2">・フラットヤークロス (70g/m<sup>2</sup>程度)</td><td rowspan="2">・れんがが押え</td></tr> <tr><td>・B-2</td></tr> <tr><td rowspan="3">・P2AI</td><td>・AI-1</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">厚さ: mm</td><td rowspan="3">※フラットヤークロス (70g/m<sup>2</sup>程度)</td><td rowspan="3"></td></tr> <tr><td>・AI-2</td></tr> <tr><td>・AI-3</td></tr> <tr><td rowspan="2">・P1BI</td><td>・BI-1</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">・図示</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr> <tr><td>・BI-2</td></tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材の厚さ	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1		厚さ: mm	※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上	・乾式保護材	・A-2	・P1B	・B-1		・図示	・フラットヤークロス (70g/m <sup>2</sup> 程度)	・れんがが押え	・B-2	・P2AI	・AI-1		厚さ: mm	※フラットヤークロス (70g/m <sup>2</sup> 程度)		・AI-2	・AI-3	・P1BI	・BI-1		・図示			・BI-2	6 合成高分子ルーフィングシート防水	露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う ・行わない [3.2.6] 改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2] ※表3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2] ※表3.4.1から表3.4.3による 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.4.2] 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の指定とする [3.4.3]								
補強種別	内容																																																							
貫通孔、開口部の補強	梁 壁 スラブ																																																							
壁切込み及び補強																																																								
天井切込み及び補強																																																								
工法	種別	施工箇所	断熱材の厚さ	絶縁用シート	立上り部の保護																																																			
・P2A	・A-1		厚さ: mm	※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上	・乾式保護材																																																			
	・A-2																																																							
・P1B	・B-1		・図示	・フラットヤークロス (70g/m <sup>2</sup> 程度)	・れんがが押え																																																			
	・B-2																																																							
・P2AI	・AI-1		厚さ: mm	※フラットヤークロス (70g/m <sup>2</sup> 程度)																																																				
	・AI-2																																																							
	・AI-3																																																							
・P1BI	・BI-1		・図示																																																					
	・BI-2																																																							
⑳ 仮設工事(改修)		⑩ 養生	① 足場その他 内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ①メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ② E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示)		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※表3.3.5及び表3.3.6による 絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2]																																																			
㉑ 養生	・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ① 高さ1.8m以下の範囲は金網養生とし、関係者以外が進入できないように施錠すること。	⑪ 仮設間仕切り(屋内)	② 養生 ① 既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ② 既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示 ・固定された備品等の移動 ※図示 ③ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> <tr><td rowspan="4">・M4C</td><td>・C-1</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">・高日射反射率塗料の適用</td><td rowspan="4">※製造所の指定による</td></tr> <tr><td>・C-2</td></tr> <tr><td>・C-3</td></tr> <tr><td>・C-4</td></tr> <tr><td rowspan="2">・M3D</td><td>・D-1</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">改修用ドレン・設ける</td></tr> <tr><td>・P O D</td><td>※D-2</td></tr> <tr><td rowspan="3">・P O D I</td><td>・DI-1</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材</td><td rowspan="3">・高日射反射率塗料の適用</td><td rowspan="3">改修用ドレン・設ける・設けない</td></tr> <tr><td>・M3D I</td><td>※DI-2</td></tr> <tr><td>・M4D I</td><td></td></tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考	・M4C	・C-1			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	・C-2	・C-3	・C-4	・M3D	・D-1				改修用ドレン・設ける	・P O D	※D-2	・P O D I	・DI-1		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材	・高日射反射率塗料の適用	改修用ドレン・設ける・設けない	・M3D I	※DI-2	・M4D I																			
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考																																																			
・M4C	・C-1			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による																																																			
	・C-2																																																							
	・C-3																																																							
	・C-4																																																							
・M3D	・D-1				改修用ドレン・設ける																																																			
	・P O D					※D-2																																																		
・P O D I	・DI-1		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材	・高日射反射率塗料の適用	改修用ドレン・設ける・設けない																																																			
	・M3D I					※DI-2																																																		
	・M4D I																																																							
㉒ 監督職員事務所	設置箇所 ※図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 A種 ・ B種 ※ C種 A種、B種の場合 仕上げ材種 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板)厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設屏設置箇所 ※図示 仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・図示	⑫ 屋根露出防水	③ 屋根露出防水 防水層の種類 [3.3.2][表3.3.7~表3.3.9] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> <tr><td rowspan="3">・M4C</td><td>・C-1</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">・高日射反射率塗料の適用</td><td rowspan="3">改修用ドレン・設ける</td></tr> <tr><td>・C-2</td></tr> <tr><td>・C-3</td></tr> <tr><td rowspan="2">・M3D</td><td>・D-1</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">改修用ドレン・設ける</td></tr> <tr><td>・P O D</td><td>※D-2</td></tr> <tr><td rowspan="3">・P O D I</td><td>・DI-1</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材</td><td rowspan="3">・高日射反射率塗料の適用</td><td rowspan="3">改修用ドレン・設ける・設けない</td></tr> <tr><td>・M3D I</td><td>※DI-2</td></tr> <tr><td>・M4D I</td><td></td></tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考	・M4C	・C-1			・高日射反射率塗料の適用	改修用ドレン・設ける	・C-2	・C-3	・M3D	・D-1				改修用ドレン・設ける	・P O D	※D-2	・P O D I	・DI-1		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材	・高日射反射率塗料の適用	改修用ドレン・設ける・設けない	・M3D I	※DI-2	・M4D I			立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない [表3.1.1] 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う ・行わない [3.2.6] 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の指定とする 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示																			
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考																																																			
・M4C	・C-1			・高日射反射率塗料の適用	改修用ドレン・設ける																																																			
	・C-2																																																							
	・C-3																																																							
・M3D	・D-1				改修用ドレン・設ける																																																			
	・P O D					※D-2																																																		
・P O D I	・DI-1		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材	・高日射反射率塗料の適用	改修用ドレン・設ける・設けない																																																			
	・M3D I					※DI-2																																																		
	・M4D I																																																							



Specification table for exterior wall waterproofing and renovation work, detailing materials, methods, and performance requirements for items like waterproofing, drainage, and wall repairs.

高知市 都市建設部 公共建築課

工 事 名 神田みどり保育園外壁等改修工事

係 長 課長補佐 課長 図面番号 鈴木 松岡 鈴木 西村 A-03

図 面 名 改修特記仕様書 (3) 縮 尺 1 / - 作 図 令和 6 年 8 月 日

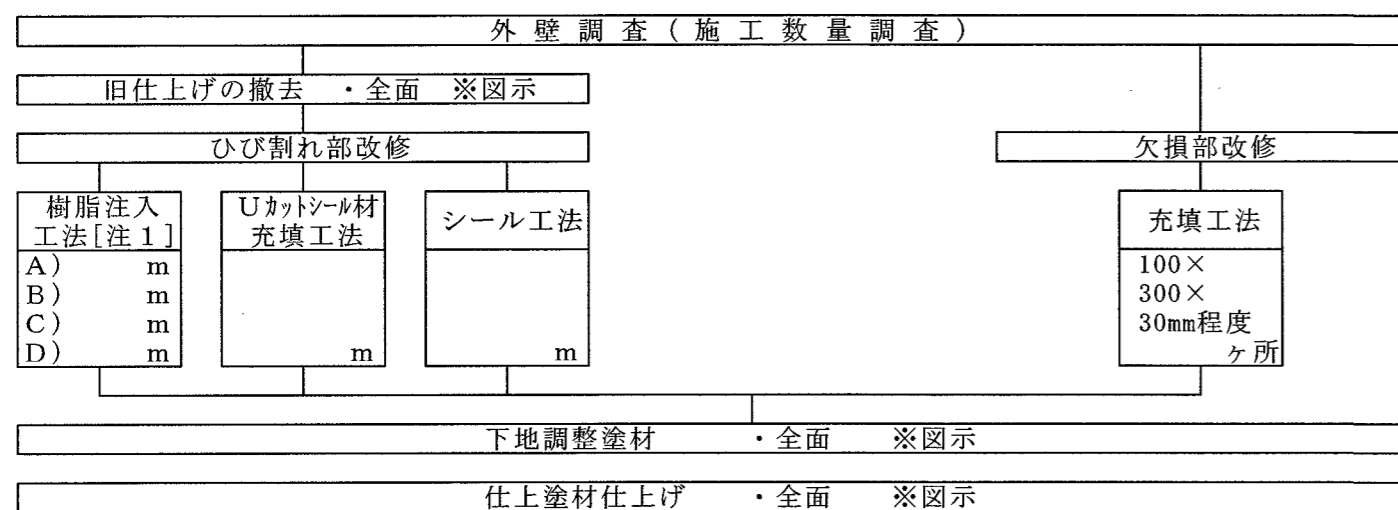


項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																							
塗装改修工事		プール塗装改修工事																																																																																																																																										
1 一般事項	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆とする 防火材料 ※屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)	① 下地調整	①(a) コンクリート製プールは塗装する10日以上前に排水し、塗装に悪影響を与えないように十分乾燥させる。 ①(b) 塗装されたコンクリート面、モルタル面、鉄鋼面、アルミニウム面、ステンレス面の下地調整の工法はRA種とする。なお、腐食による欠損や溶接部のひび割れ等がある場合の処理については、監督職員と協議する。																																																																																																																																									
2 下地調整	塗替えR B種の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す [7.2.1] [7.2.2~7.2.7] [表7.2.1~表7.2.7]		コンクリート面、モルタル面、鉄鋼面、アルミニウム面、ステンレス面の下地調整の工程																																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>ひび割れの補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部 不透明塗料塗り</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>透明塗料塗り</td> <td>・ R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>モルタル面、プラスター面</td> <td>※R B種</td> <td>○R C種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)・A L Cパネル面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP)・押出成形セメント板面</td> <td>・</td> <td>○行う ・行わない ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面・その他ボード面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れの補修	木部 不透明塗料塗り	※R B種	・	透明塗料塗り	・ R B種	・	鉄鋼面	※R B種	・	亜鉛めっき鋼面	※R B種	・	モルタル面、プラスター面	※R B種	○R C種	コンクリート面 (DP以外)・A L Cパネル面	※R B種	・	コンクリート面 (DP)・押出成形セメント板面	・	○行う ・行わない ・行わない	せっこうボード面・その他ボード面	※R B種	・		<table border="1"> <thead> <tr> <th>下地調整の種類</th> <th>工程</th> <th>面の処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RA種</td> <td>既存塗膜の除去 汚れ、付着物の除去</td> <td>ディスクサンダー、スクレーパー等により、塗膜及び錆等を全面除去する</td> </tr> <tr> <td>RB種</td> <td>既存塗膜の除去 汚れ、付着物の除去</td> <td>ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し弱い部分及び錆等を除去し、活膜は残す。</td> </tr> </tbody> </table>	下地調整の種類	工程	面の処理	RA種	既存塗膜の除去 汚れ、付着物の除去	ディスクサンダー、スクレーパー等により、塗膜及び錆等を全面除去する	RB種	既存塗膜の除去 汚れ、付着物の除去	ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し弱い部分及び錆等を除去し、活膜は残す。																																																																																																					
下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れの補修																																																																																																																																										
木部 不透明塗料塗り	※R B種	・																																																																																																																																										
透明塗料塗り	・ R B種	・																																																																																																																																										
鉄鋼面	※R B種	・																																																																																																																																										
亜鉛めっき鋼面	※R B種	・																																																																																																																																										
モルタル面、プラスター面	※R B種	○R C種																																																																																																																																										
コンクリート面 (DP以外)・A L Cパネル面	※R B種	・																																																																																																																																										
コンクリート面 (DP)・押出成形セメント板面	・	○行う ・行わない ・行わない																																																																																																																																										
せっこうボード面・その他ボード面	※R B種	・																																																																																																																																										
下地調整の種類	工程	面の処理																																																																																																																																										
RA種	既存塗膜の除去 汚れ、付着物の除去	ディスクサンダー、スクレーパー等により、塗膜及び錆等を全面除去する																																																																																																																																										
RB種	既存塗膜の除去 汚れ、付着物の除去	ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し弱い部分及び錆等を除去し、活膜は残す。																																																																																																																																										
3 素地ごしえ	[7.3.2~7.3.7] [表7.3.1~表7.3.7]	② 施工	・(c) 未塗装のコンクリート面及びモルタル面は、高圧水洗機で水洗いし、十分に乾燥させる。 ・(d) FRP面の下地調整は、全面にディスクサンダー又は他の研磨機を使用して粗面とした後、アセトン全面拭きとする。																																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面等</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部 不透明塗料塗り</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>透明塗料塗り</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td>・ A種 ・ B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP)</td> <td>・ A種 ※B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプラスター面</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート・A L Cパネル面 (DP以外)</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート (DP)</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面 (継目処理工法)</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面 (継目処理以外)・その他ボード面</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> </tbody> </table>	下地面等	種類	木部 不透明塗料塗り	※A種 ・ B種	透明塗料塗り	・ A種 ※B種	鉄鋼面 (DP以外)	・ A種 ・ B種 ※C種	鉄鋼面 (DP)	・ A種 ※B種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種	モルタル面及びプラスター面	・ A種 ※B種	コンクリート・A L Cパネル面 (DP以外)	・ A種 ※B種	コンクリート (DP)	・ A種 ・ B種	押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種	せっこうボード面 (継目処理工法)	※A種 ・ B種	せっこうボード面 (継目処理以外)・その他ボード面	・ A種 ※B種		<p>(a) 施工に当たっては、塗装面、その周囲及び床等に汚染または損傷を与えないようにあらかじめ塗装箇所周辺に適切な養生をする。</p> <p>(b) 脱泡ローラー等を使用して気泡や凹凸を生じないように施工する。</p> <p>(c) ガラスクロスライニング工法塗りの工程の種類は次の表による。 なお、各工程の塗付量はライニング用材料の製造所の仕様による。</p>																																																																																																																	
下地面等	種類																																																																																																																																											
木部 不透明塗料塗り	※A種 ・ B種																																																																																																																																											
透明塗料塗り	・ A種 ※B種																																																																																																																																											
鉄鋼面 (DP以外)	・ A種 ・ B種 ※C種																																																																																																																																											
鉄鋼面 (DP)	・ A種 ※B種 ・ C種																																																																																																																																											
亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種																																																																																																																																											
モルタル面及びプラスター面	・ A種 ※B種																																																																																																																																											
コンクリート・A L Cパネル面 (DP以外)	・ A種 ※B種																																																																																																																																											
コンクリート (DP)	・ A種 ・ B種																																																																																																																																											
押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種																																																																																																																																											
せっこうボード面 (継目処理工法)	※A種 ・ B種																																																																																																																																											
せっこうボード面 (継目処理以外)・その他ボード面	・ A種 ※B種																																																																																																																																											
4 錆止め塗料の種類	[7.3.3, 7.4.2~7.4.3] [表7.3.3, 表7.4.1~表7.4.6]		ガラスクロスライニング工法の塗り工程の種類																																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">塗装面</th> <th rowspan="2">塗料</th> <th colspan="3">工程</th> </tr> <tr> <th>RA種</th> <th>RB種</th> <th>RA種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え ※A種</td> <td>※C種</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td>新規見え掛り部分</td> <td>※A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ部分</td> <td>1回目 C種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内 (EP-G)</td> <td>塗替え</td> <td>※B種</td> <td>○B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>新規見え掛り部分</td> <td>1回目 C種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え ※A種 ・ B種</td> <td>※C種</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え ※B種</td> <td>※A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内 (EP-G)</td> <td>塗替え</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> </tbody> </table>	塗装面	塗料	工程			RA種	RB種	RA種	鉄鋼面	SOP	塗替え ※A種	※C種	※A種 ・ B種	DP	新規見え掛り部分	※A種	※B種 ・ A種	新規見え隠れ部分	1回目 C種	※A種	屋内 (EP-G)	塗替え	※B種	○B種 ・ C種	新規見え掛り部分	1回目 C種	※A種	亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え ※A種 ・ B種	※C種	※A種 ・ B種	DP	塗替え ※B種	※A種	※B種 ・ A種	屋内 (EP-G)	塗替え	※B種	※A種	※B種	鋼製建具	※B種	※A種	※B種		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程</th> <th colspan="6">ガラスクロスライニング工法</th> </tr> <tr> <th colspan="2">ケルチ樹脂系仕上げ</th> <th colspan="4">ふっ素樹脂系仕上げ</th> </tr> <tr> <td></td> <th>&lt;GEU&gt;-1</th> <th>&lt;GEU&gt;-2</th> <th>&lt;GEU&gt;-3</th> <th>&lt;GEF&gt;-1</th> <th>&lt;GEF&gt;-2</th> <th>&lt;GEF&gt;-3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地調整</td> <td>RA種, RB種</td> <td>RB種</td> <td>RA種</td> <td>RA種, RB種</td> <td>RB種</td> <td>RA種</td> </tr> <tr> <td>補修塗り</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下塗り</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>下塗り (2回目)</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ガラスクロスライニング</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂ライニング</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>中塗り</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>上塗り</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>上塗り (2回目)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>アールの素材</td> <td>○コンクリート, 7% ステンレス, FRP</td> <td>・ 鋼板</td> <td>・ コンクリート, 7% ステンレス, FRP</td> <td>・ 鋼板</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工程	ガラスクロスライニング工法						ケルチ樹脂系仕上げ		ふっ素樹脂系仕上げ					<GEU>-1	<GEU>-2	<GEU>-3	<GEF>-1	<GEF>-2	<GEF>-3	下地調整	RA種, RB種	RB種	RA種	RA種, RB種	RB種	RA種	補修塗り		○			○		下塗り	○	○	○	○	○	○	下塗り (2回目)			○			○	ガラスクロスライニング	○	○	○	○	○	○	エポキシ樹脂ライニング	○	○	○	○	○	○	中塗り	○	○	○	○	○	○	上塗り	○	○	○	○	○	○	上塗り (2回目)	○	○	○	○	○	○	アールの素材	○コンクリート, 7% ステンレス, FRP	・ 鋼板	・ コンクリート, 7% ステンレス, FRP	・ 鋼板				
塗装面	塗料			工程																																																																																																																																								
		RA種	RB種	RA種																																																																																																																																								
鉄鋼面	SOP	塗替え ※A種	※C種	※A種 ・ B種																																																																																																																																								
	DP	新規見え掛り部分	※A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
		新規見え隠れ部分	1回目 C種	※A種																																																																																																																																								
	屋内 (EP-G)	塗替え	※B種	○B種 ・ C種																																																																																																																																								
		新規見え掛り部分	1回目 C種	※A種																																																																																																																																								
	亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え ※A種 ・ B種	※C種	※A種 ・ B種																																																																																																																																							
DP		塗替え ※B種	※A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
屋内 (EP-G)	塗替え	※B種	※A種	※B種																																																																																																																																								
	鋼製建具	※B種	※A種	※B種																																																																																																																																								
工程	ガラスクロスライニング工法																																																																																																																																											
	ケルチ樹脂系仕上げ		ふっ素樹脂系仕上げ																																																																																																																																									
	<GEU>-1	<GEU>-2	<GEU>-3	<GEF>-1	<GEF>-2	<GEF>-3																																																																																																																																						
下地調整	RA種, RB種	RB種	RA種	RA種, RB種	RB種	RA種																																																																																																																																						
補修塗り		○			○																																																																																																																																							
下塗り	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
下塗り (2回目)			○			○																																																																																																																																						
ガラスクロスライニング	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
エポキシ樹脂ライニング	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
中塗り	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
上塗り	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
上塗り (2回目)	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
アールの素材	○コンクリート, 7% ステンレス, FRP	・ 鋼板	・ コンクリート, 7% ステンレス, FRP	・ 鋼板																																																																																																																																								
5 塗装の種類	[7.3.2, 7.5.2~7.13.2] [表7.5.1~表7.13.1]																																																																																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>略号</th> <th>塗装</th> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・ SOP</td> <td rowspan="4">合成樹脂調合ペイント塗り</td> <td>木部 (屋外)</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部 (屋内)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・ CL</td> <td>クリヤラッカー塗り</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ NAD</td> <td>アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ DP</td> <td rowspan="2">耐候性塗料塗り</td> <td>上塗り塗料等級</td> <td>表7.8.1</td> <td>表7.8.1</td> </tr> <tr> <td>① 1級 ・ 2級</td> <td>表7.8.2</td> <td>表7.8.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">・ EP-G</td> <td rowspan="10">つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>プラスター面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>屋内亜鉛めっき鋼面</td> <td>※A種</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ EP</td> <td>合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ UC</td> <td rowspan="2">ウレタン樹脂ワニス塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ スティン</td> <td>ビグメントスティン塗り</td> <td></td> <td>表7.12.1</td> <td>表7.12.1</td> </tr> <tr> <td>・ オイル</td> <td>オイルスティン塗り (OS)</td> <td></td> <td>表7.12.1</td> <td>表7.12.1</td> </tr> <tr> <td>・ WP</td> <td>木材保護塗料塗り</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> </tbody> </table>	略号	塗装	塗装面	塗替え	新規	・ SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部 (屋外)	※B種	※A種	木部 (屋内)	※B種	※B種	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※B種	※B種	・ CL	クリヤラッカー塗り		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	・ NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	○ DP	耐候性塗料塗り	上塗り塗料等級	表7.8.1	表7.8.1	① 1級 ・ 2級	表7.8.2	表7.8.2	・ EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種 ・ A種	モルタル面	※B種	※B種 ・ A種	プラスター面	※B種	※B種 ・ A種	せっこうボード面	※B種	※B種 ・ A種	その他ボード面	※B種	※B種 ・ A種	屋内木部	※B種	※A種	屋内鉄鋼面	※B種	※A種 ・ B種	屋内亜鉛めっき鋼面	※A種	※A種 ・ B種	コンクリート面	※B種	※B種 ・ A種	モルタル面	※B種	※B種 ・ A種	・ EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	・ UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	コンクリート面	※B種	※B種 ・ A種	その他ボード面	※B種	※B種 ・ A種	・ スティン	ビグメントスティン塗り		表7.12.1	表7.12.1	・ オイル	オイルスティン塗り (OS)		表7.12.1	表7.12.1	・ WP	木材保護塗料塗り		※B種	※B種																																										
略号	塗装	塗装面	塗替え	新規																																																																																																																																								
・ SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部 (屋外)	※B種	※A種																																																																																																																																								
		木部 (屋内)	※B種	※B種																																																																																																																																								
		鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
		亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※B種	※B種																																																																																																																																								
・ CL	クリヤラッカー塗り		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
・ NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
○ DP	耐候性塗料塗り	上塗り塗料等級	表7.8.1	表7.8.1																																																																																																																																								
		① 1級 ・ 2級	表7.8.2	表7.8.2																																																																																																																																								
・ EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
		モルタル面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
		プラスター面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
		せっこうボード面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
		その他ボード面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
		屋内木部	※B種	※A種																																																																																																																																								
		屋内鉄鋼面	※B種	※A種 ・ B種																																																																																																																																								
		屋内亜鉛めっき鋼面	※A種	※A種 ・ B種																																																																																																																																								
		コンクリート面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
		モルタル面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
・ EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
・ UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	コンクリート面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
		その他ボード面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																																																																								
・ スティン	ビグメントスティン塗り		表7.12.1	表7.12.1																																																																																																																																								
・ オイル	オイルスティン塗り (OS)		表7.12.1	表7.12.1																																																																																																																																								
・ WP	木材保護塗料塗り		※B種	※B種																																																																																																																																								
	<p>CL A種の場合の塗料の種類</p> <p>UC 着色 ・ 適用する</p> <p>OS 仕様 ・ 図示</p> <p>○ 撥水材 浸透性吸水防止材 水性タイプ ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆登録品</p>																																																																																																																																											

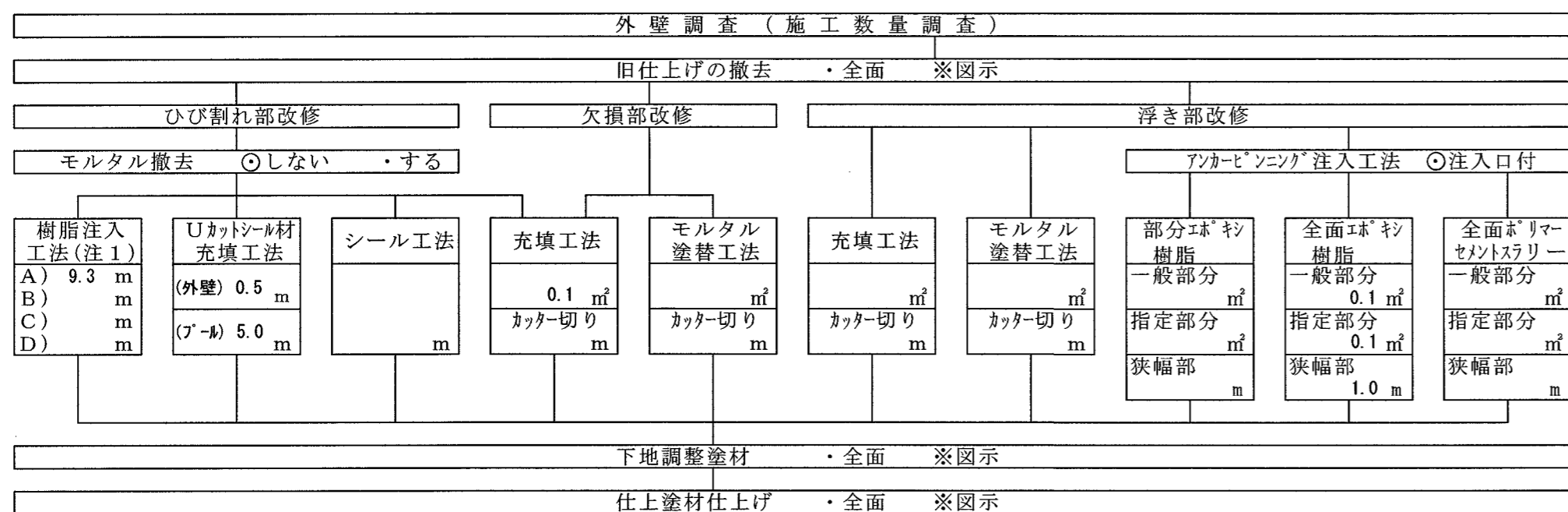
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
神田みどり保育園外壁等改修工事	鈴木	笹岡	松本	木村	A-04
図面名	改修特記仕様書 (4) 2024.04 縮尺 1 / -				
作図	令和6年 8月 日				

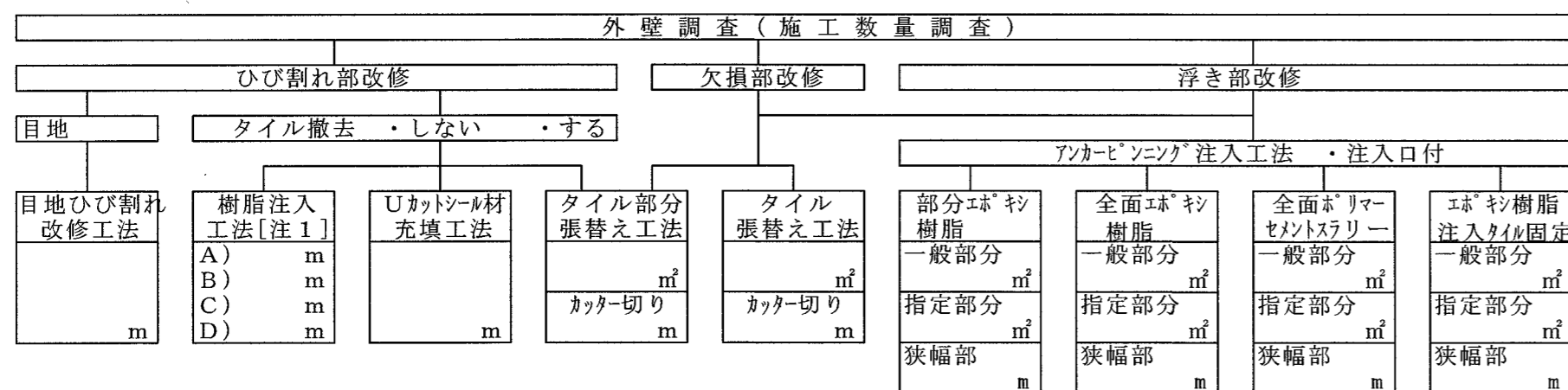
・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合



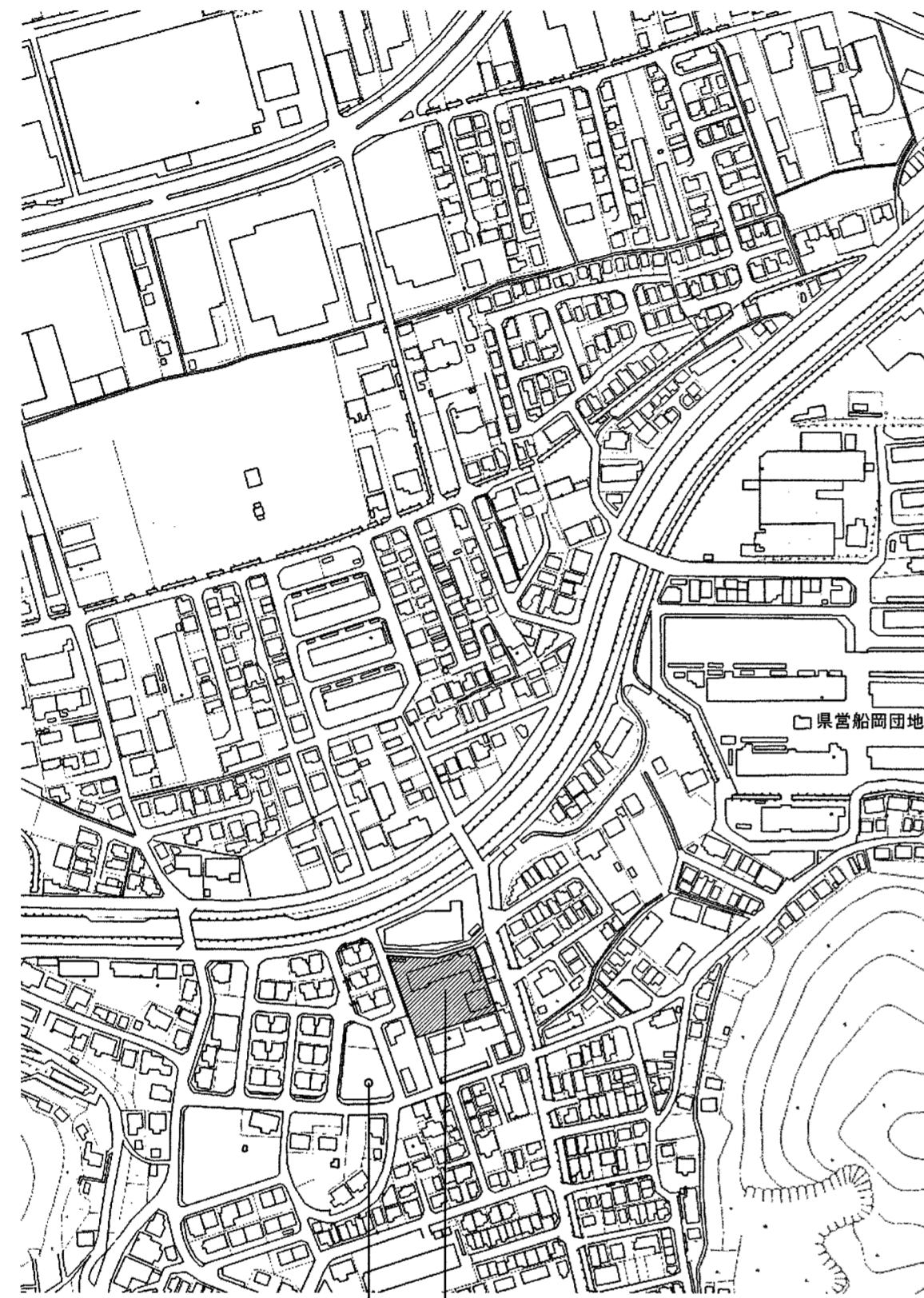
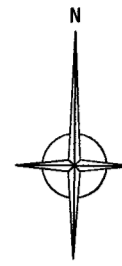
○モルタル塗り仕上げ外壁の場合



・タイル張り仕上げ外壁の場合



(注1) ひび割れ幅(mm)が、A)0.2以上1.0以下、B)0.2以上0.3未満、C)0.3以上0.5未満、D)0.5以上1.0以下を示す  
 A)は自動式低圧エキボシ樹脂注入工法を示し、  
 B)・C)・D)は手動式エキボシ樹脂注入工法、機械式エキボシ樹脂注入工法を示す。

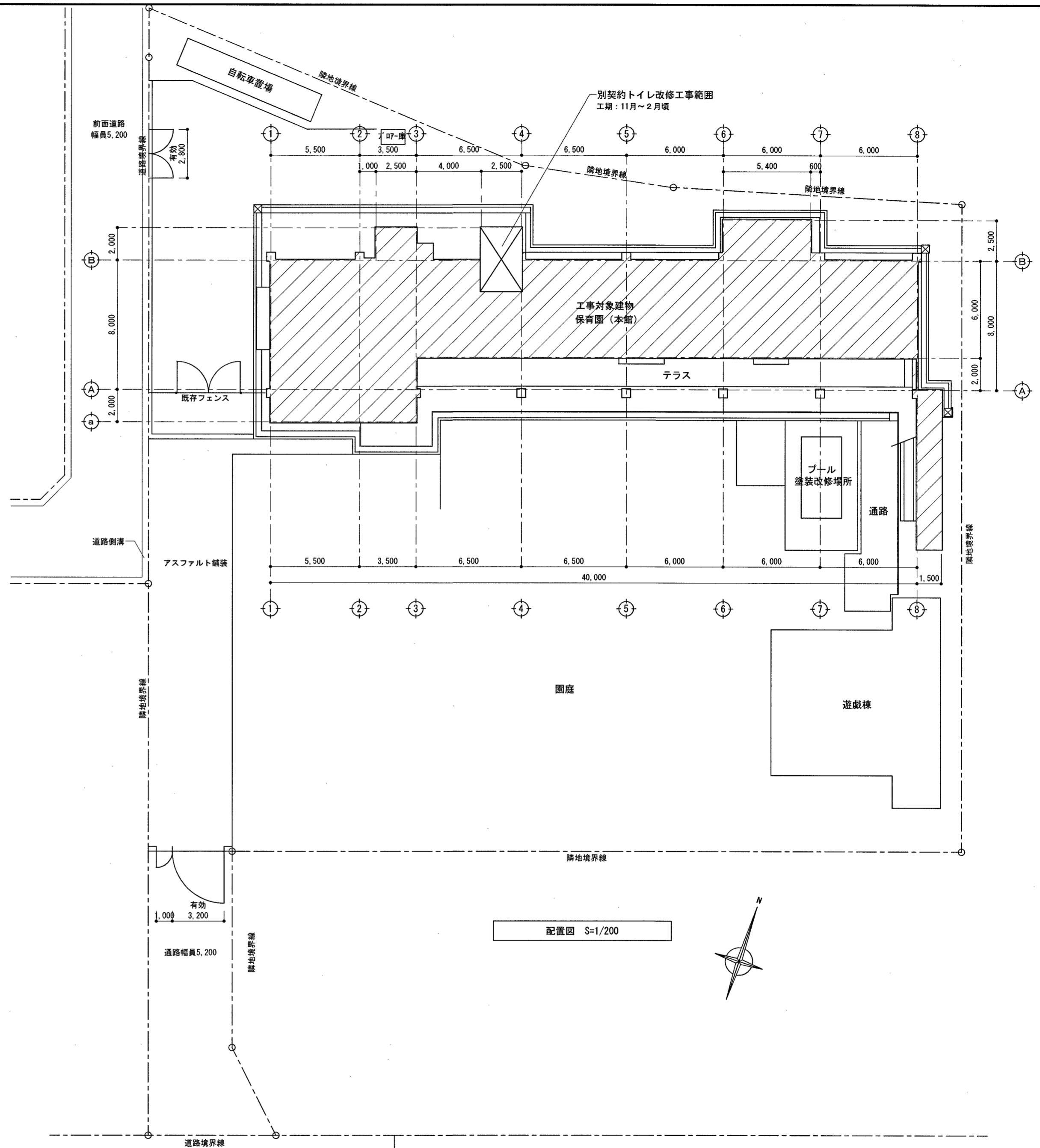


保育園駐車場  
工事車両置場  
※詳細は仮設計画図 (A-07) 参照  
工場所：高知市神田47番地4 神田みどり保育園

付近見取図

■ 工事概要

- 1) 外壁改修
  - ・外壁及び軒天：(劣化改修) 水洗いの上 複層塗材E
  - ・堅碁：既存撤去の上 カラーVP100【新設】
  - ・根廻：水洗いの上 撥水剤塗布
- 1) プール塗装改修
  - ・プール底：プール塗装ガラスクロスライニング防滑仕様ウレタン樹脂系仕上げ【新設】

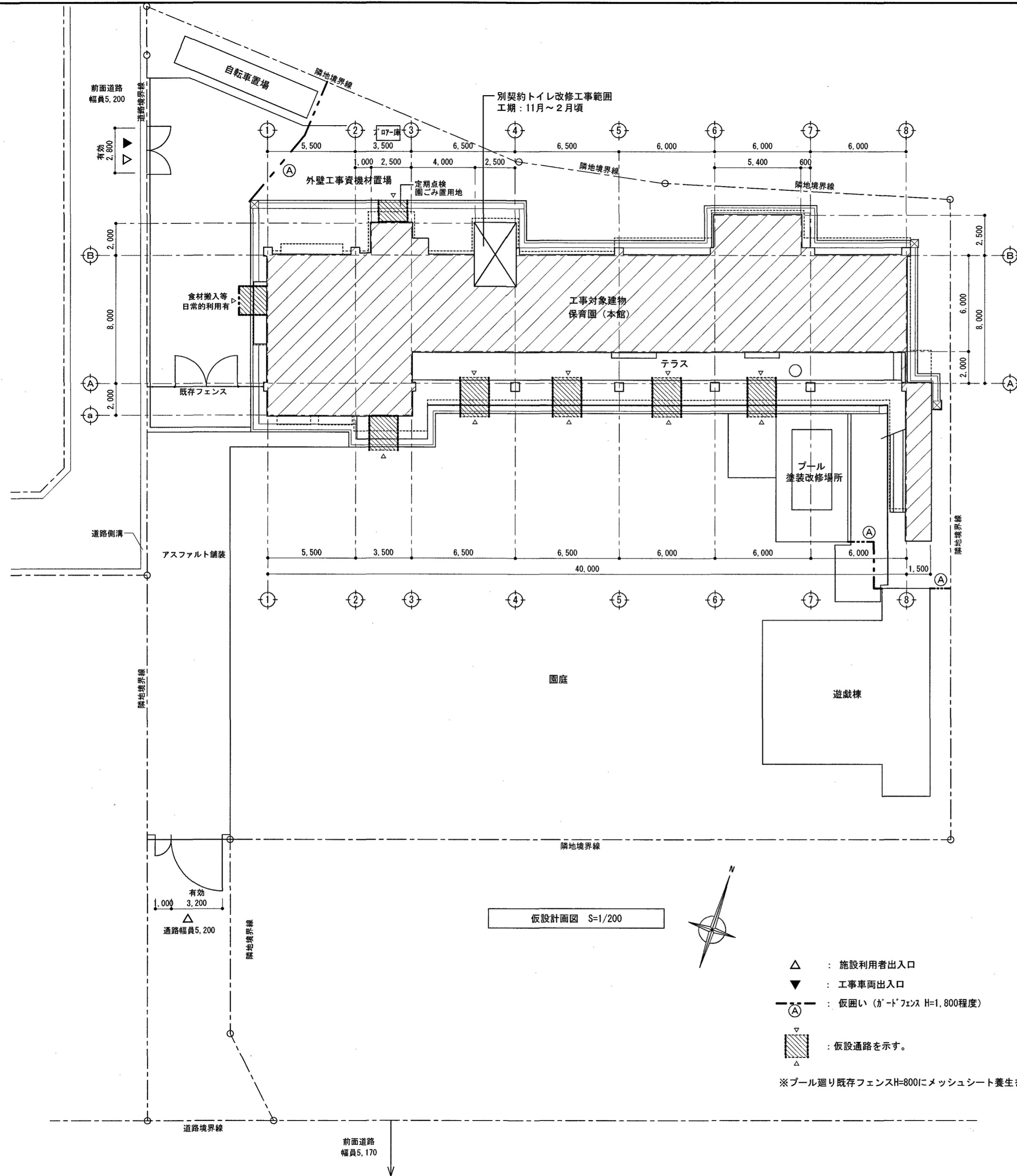


配置図 S=1/200



高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	神田みどり保育園外壁等改修工事		NO A-06
係	係長	課長補佐	課長	図面名	工事概要・付近見取図・配置図		
鈴木	菅岡	松本	松村	CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	SCALE 1/200
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%				一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史			

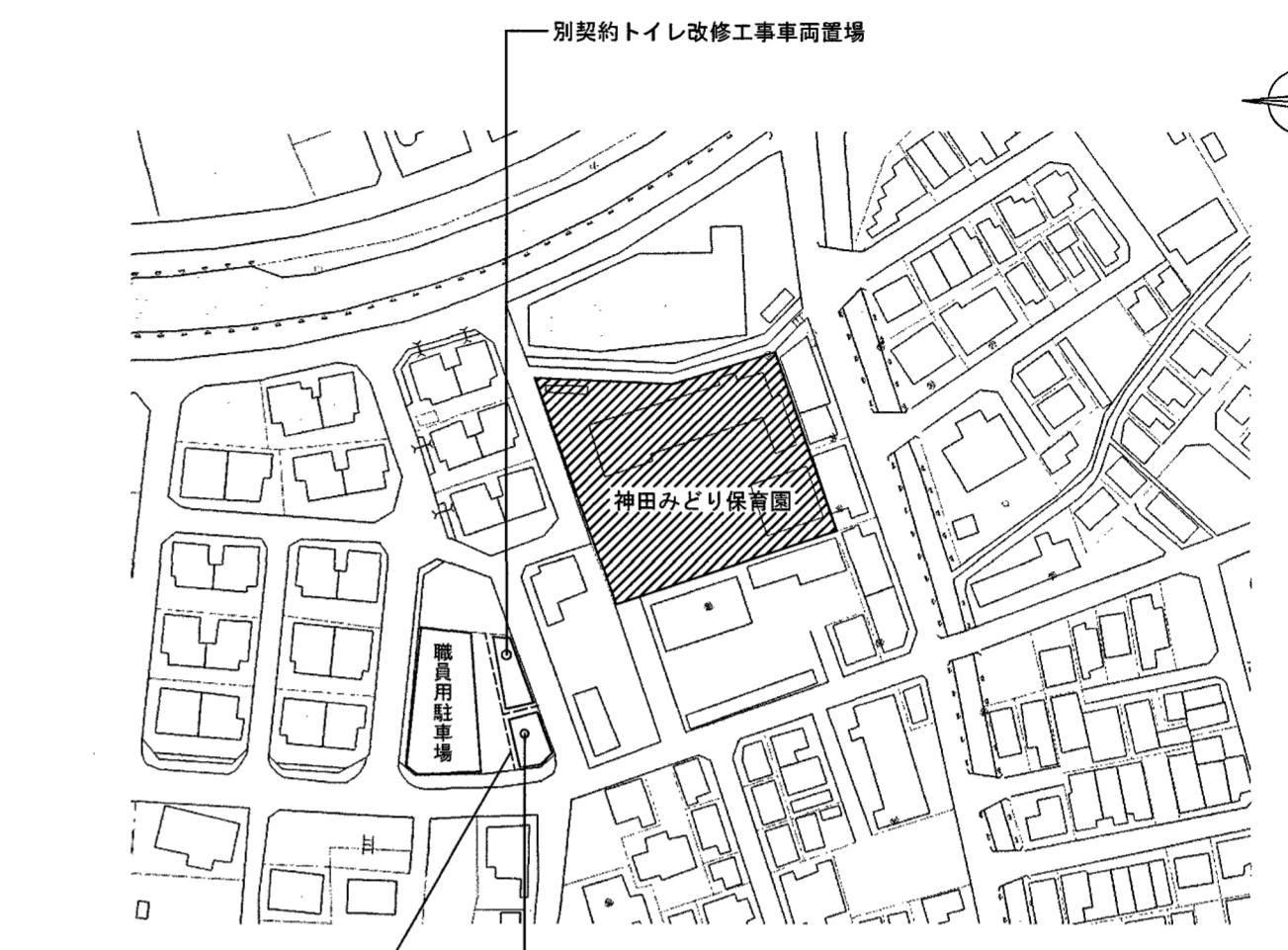




仮設計画図 S=1/200

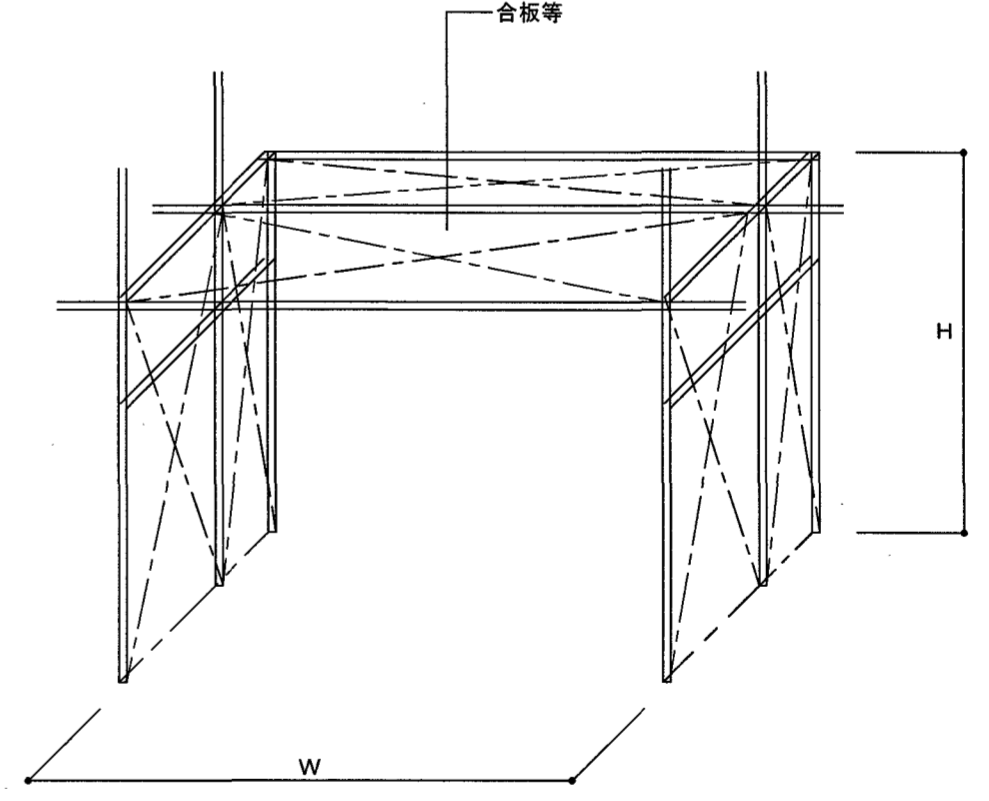
- ▲ : 施設利用者出入口
- ▼ : 工事車両出入口
- : 仮囲い (ガードフェンス H=1,800程度)
- ▨ : 仮設通路を示す。

※プール廻り既存フェンスH=800にメッシュシート養生を行うこと。



※ 近隣にある保育園駐車場の一部を工事用車両置場 (10m×5m程度) として利用可。詳細は現地打合せによる。位置は付近見取図 (A-06) 参照。

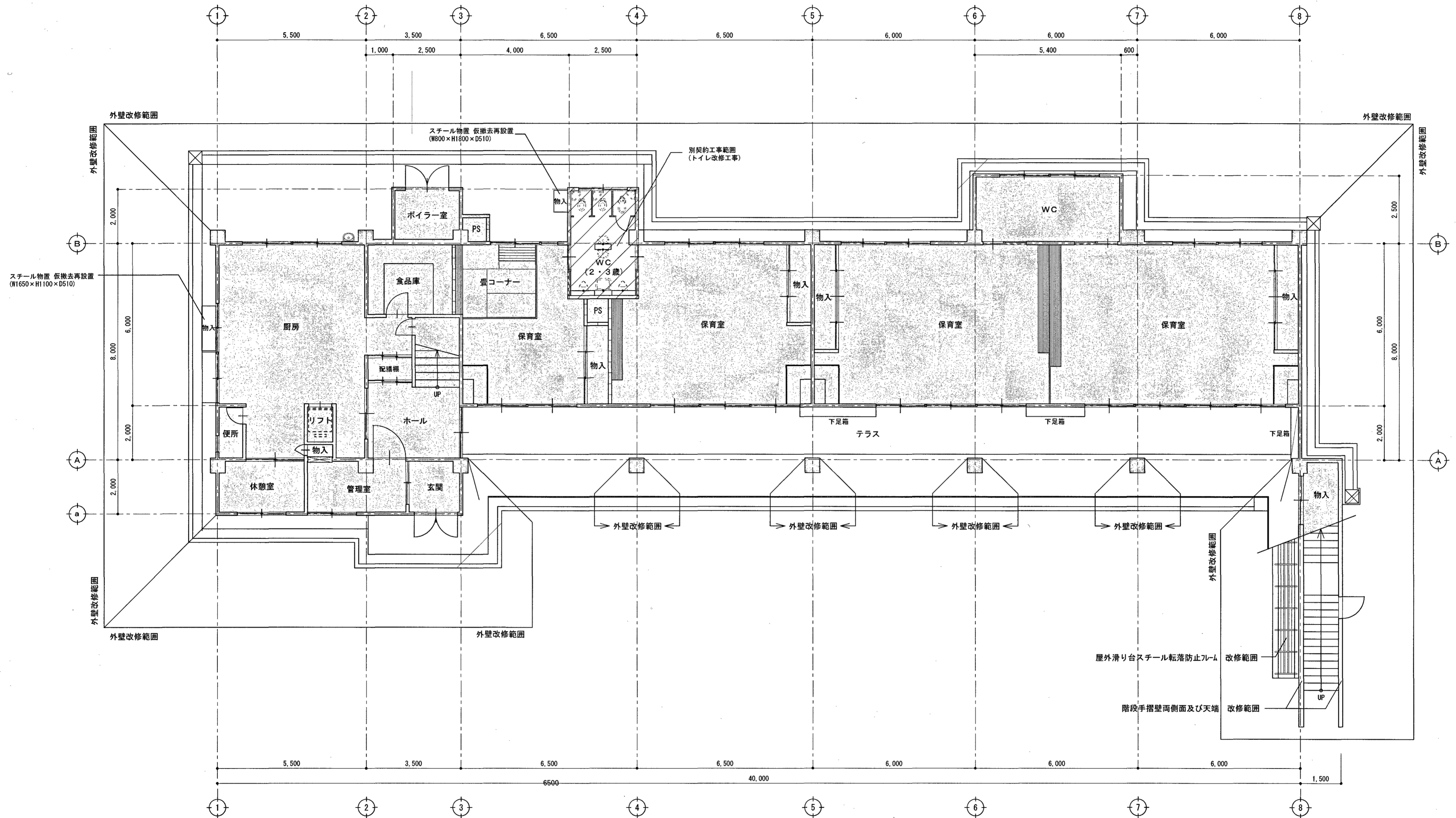
工事車両駐車場位置図



W1,800程度、H2500程度  
 なお、上記寸法は作業スペース等確保の上決定する。  
 施設利用者が安全に施設に入退場出来るように仮設足場及び、仮設足場と建物の隙間を型枠用合板等にて三方養生を行うこと。  
 仮設足場の出隅部は養生すること。

仮設通路詳細図

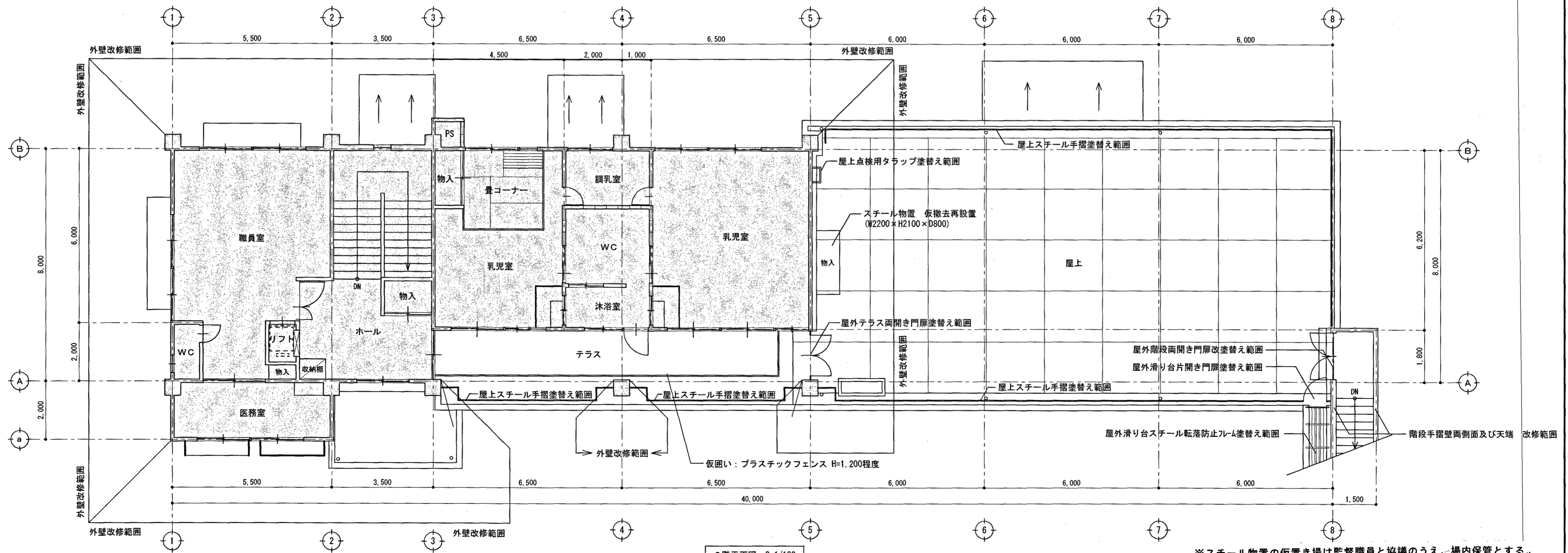
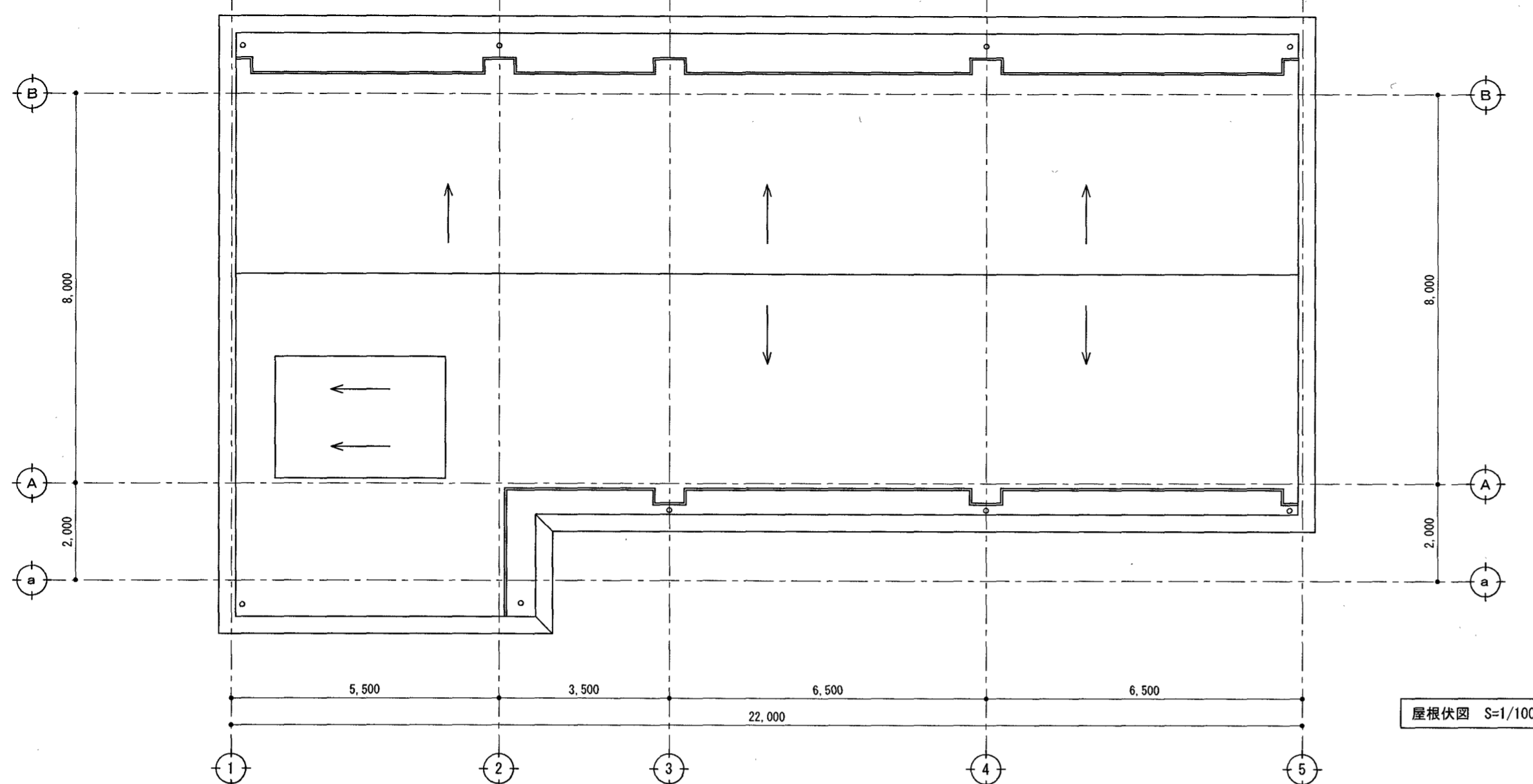
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 神田みどり保育園外壁等改修工事		NO A-07
係 鈴木	係長 菅岡	課長補佐 松本	課長 松村	図面名 仮設計画図		
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY	DRAWN BY Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本 康史



1階平面図 S=1/100

※スチール物置の仮置き場は監督職員と協議のうえ、場内保管とする。

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	神田みどり保育園外壁等改修工事		NO A-08
係	係長	課長補佐	課長	図面名	1階平面図		
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto
				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史		松本 琢史 松本 琢史	

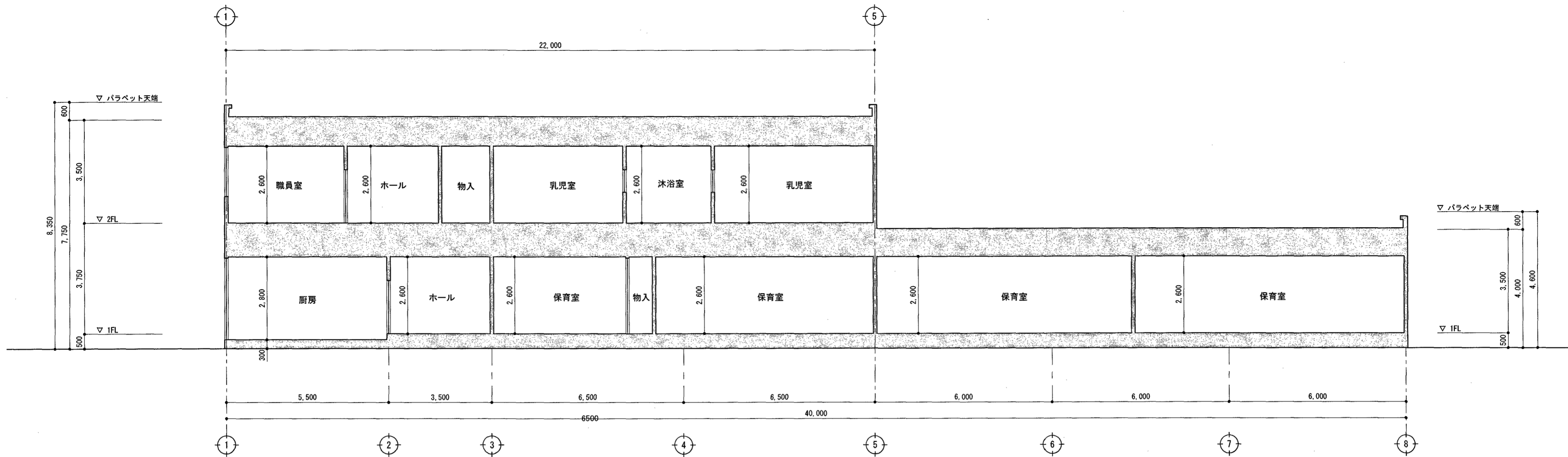


※スチール物置の仮置き場は監督職員と協議のうえ、場内保管とする。

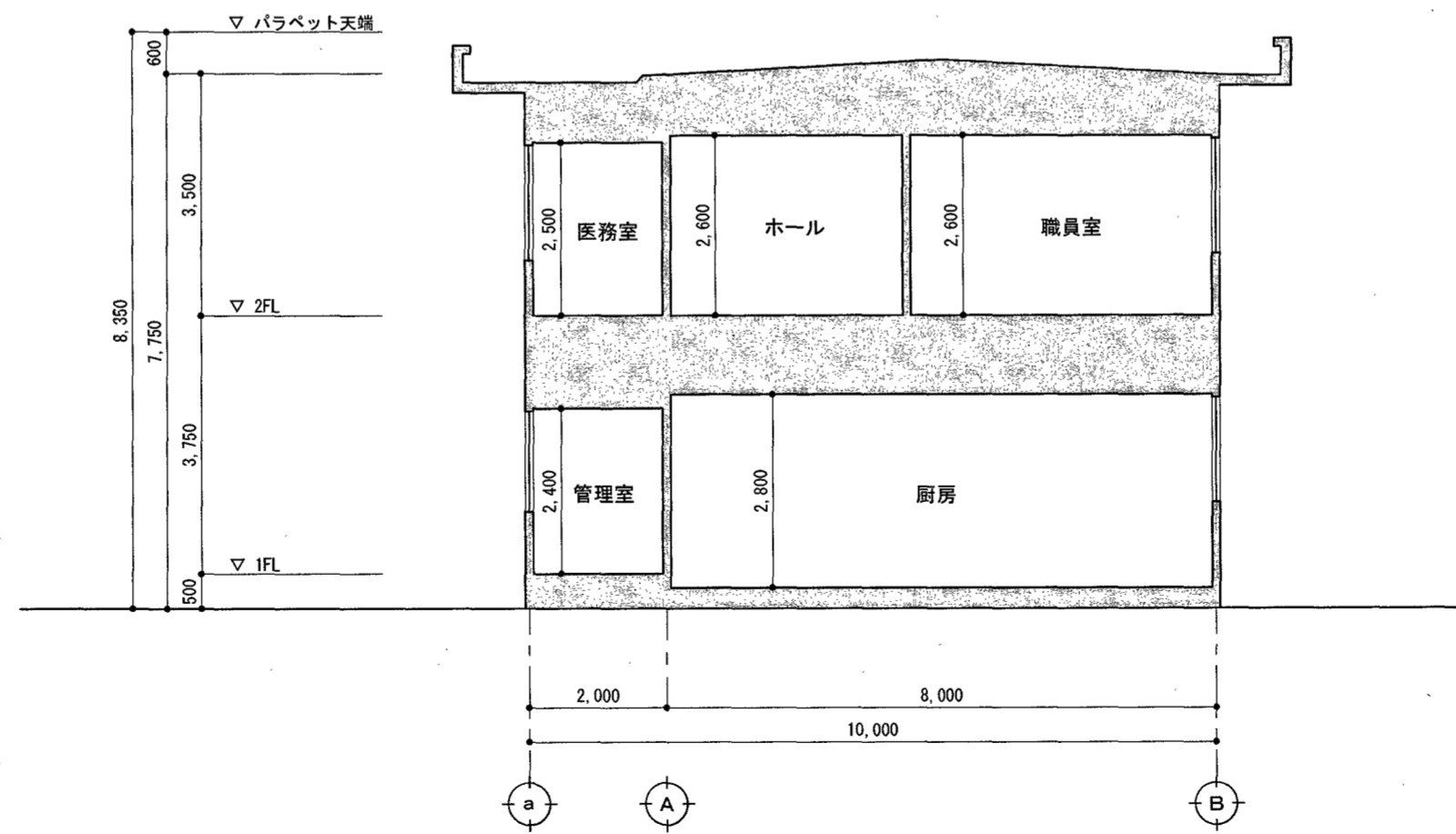
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	神田みどり保育園外壁等改修工事		松本 琢史 建築設計事務所 TAXUJI MATSUMOTO Architect & Associates	NO A-09
係	係長	課長補佐	課長	図面名	2階平面図・屋根伏図			
鈴木	笹岡	松本	田村	CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本 琢史	

用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%



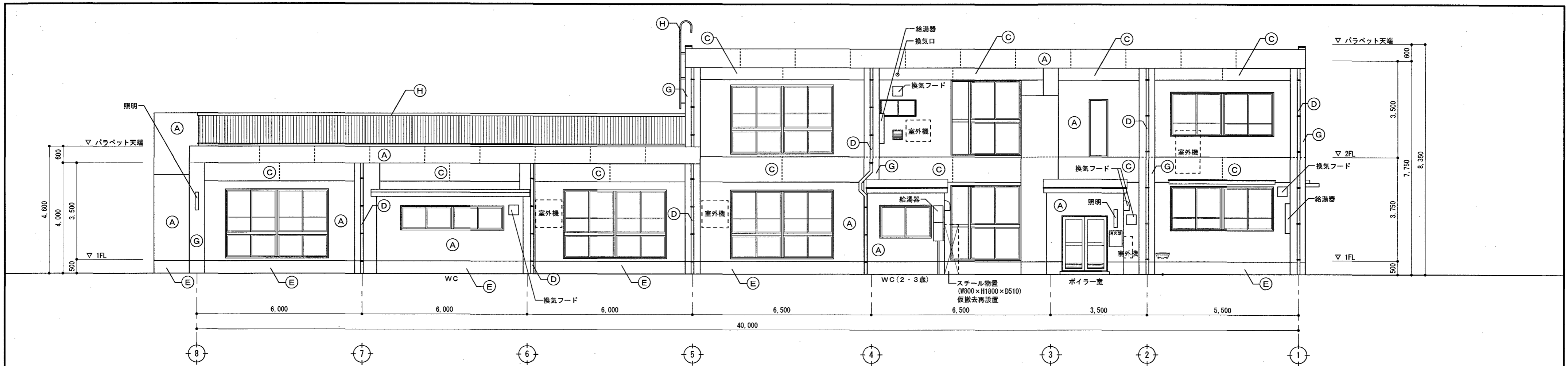


断面図 S=1/100

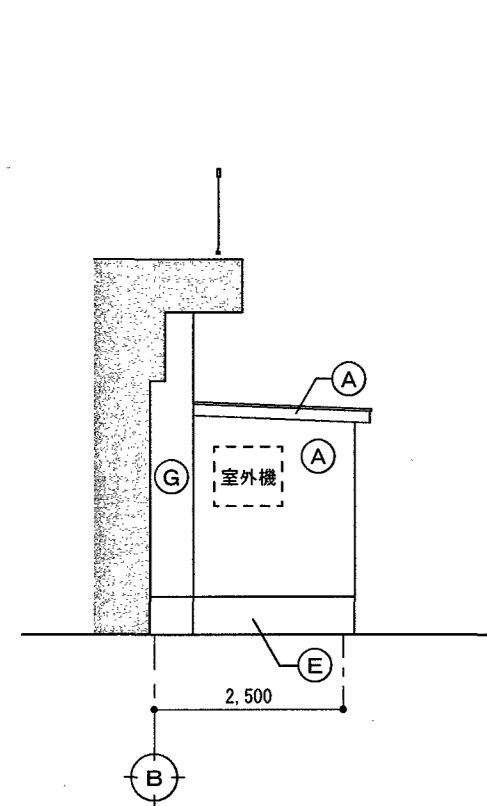


断面図 S=1/100

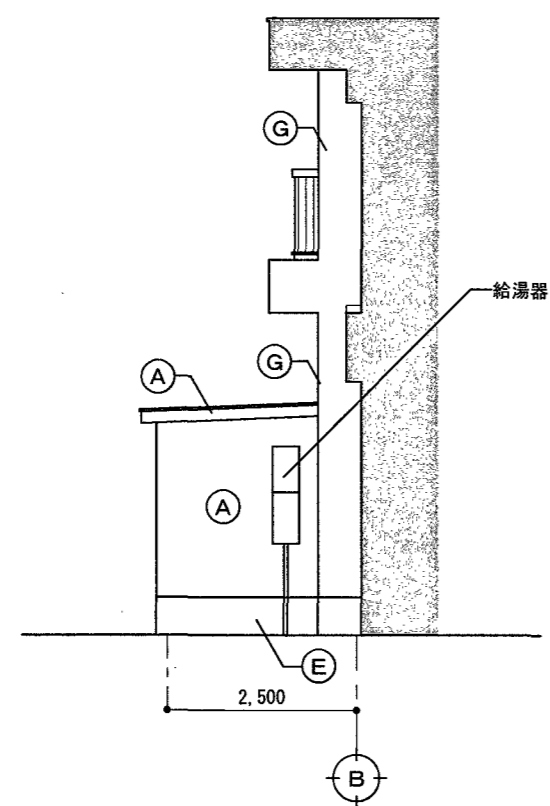
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 神田みどり保育園外壁等改修工事		松本 琢史 建築設計事務所 TAKUJIMATSUMOTO Architect & Associates		NO A-10
係	係長	課長補佐	課長	図面名 断面図		一級建築士大臣登録第322947号 松本 琢史		SCALE 1/100
鈴木	菅岡	松本	岡村	CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto		
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%								



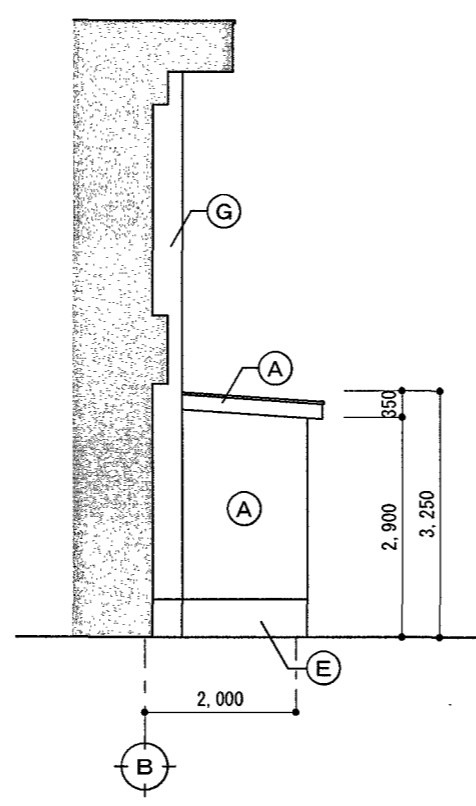
北立面図 S=1/100



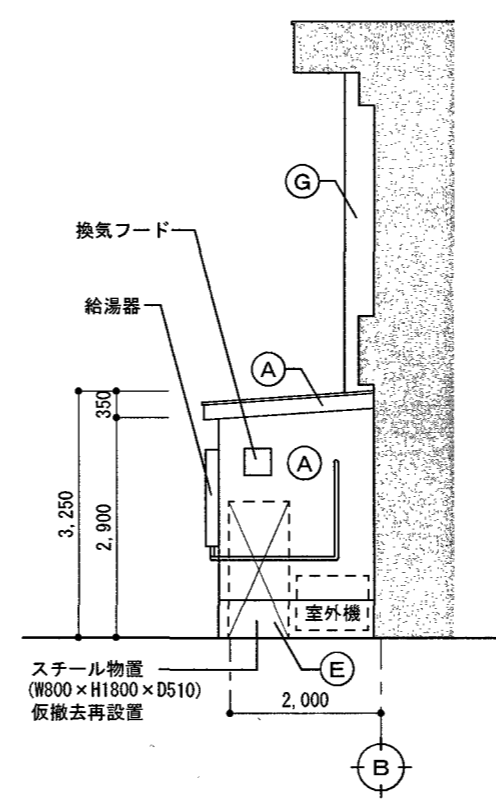
WC 東面 S=1/100



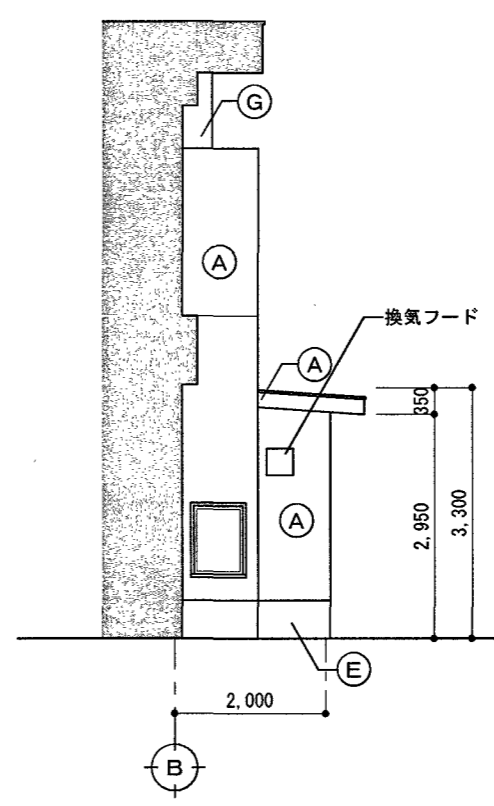
WC 西面 S=1/100



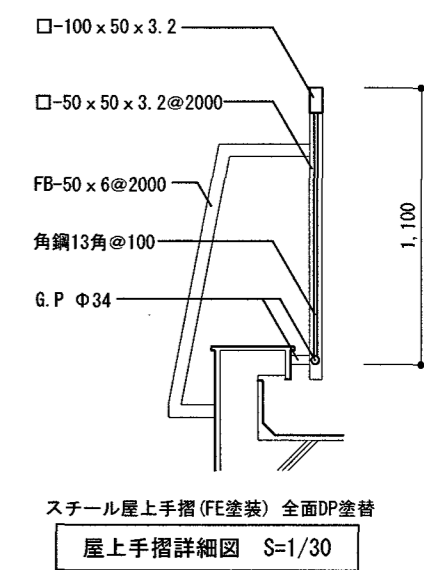
WC(2・3歳) 東面 S=1/100



WC(2・3歳) 西面 S=1/100



ボイラー室 東面 S=1/100



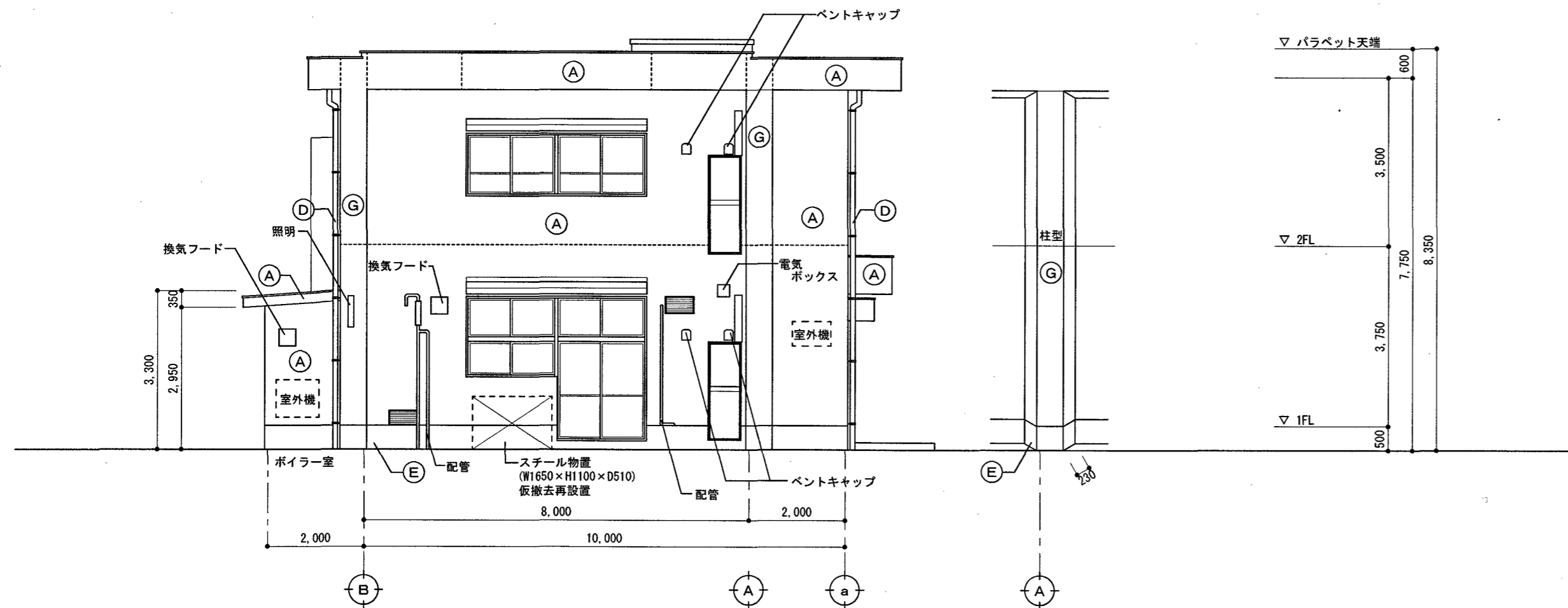
部位	記号	既存仕上表	既存仕上表 (H20年改修内容)	改修後仕上表
外壁	(A)	モルタル下地 アクリルリシン吹付の上複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【改修】
軒天	(B)	コンクリート下地 アクリルリシン吹付の上外装薄塗材E	水洗いの上 外装薄塗材E	水洗い-劣化改修-外装薄塗材E【新設】
梁型	(C)	モルタル下地 複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【改修】
縦樋	(D)	VP100Φ (掴み金物@900)	VP100Φ (掴み金物@900) FE塗替え【撤去】	カラー-VP100Φ (SUS掴み金物共)【新設】
根廻	(E)	モルタル刷毛引き仕上	モルタル刷毛引き仕上【既存のまま】	水洗い-撥水剤塗布【改修】
	(F)	二丁掛タイル張り	二丁掛タイル張り【既存のまま】	水洗い【改修】
柱型	(G)	モルタル下地 複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【新設】
屋上スチール手摺 点検用タラップ 屋上テラス門扉 滑り台フレーム	(H)	FE塗装仕上げ	FE塗装【塗替え】	下地調整-DP塗装【塗替え】

劣化改修	
損傷内容	予定数量
ひび割れ(幅0.2 ~ 1.0mm 未満)	9.3m
ひび割れ(幅1.0mm 以上)	0.5m
欠損	0.1㎡
浮き(一般部)	0.1㎡
浮き(指定部)	0.1㎡
浮き(狭幅部)	1.0m
塗膜浮き はがれ	48.6m <sup>2</sup>

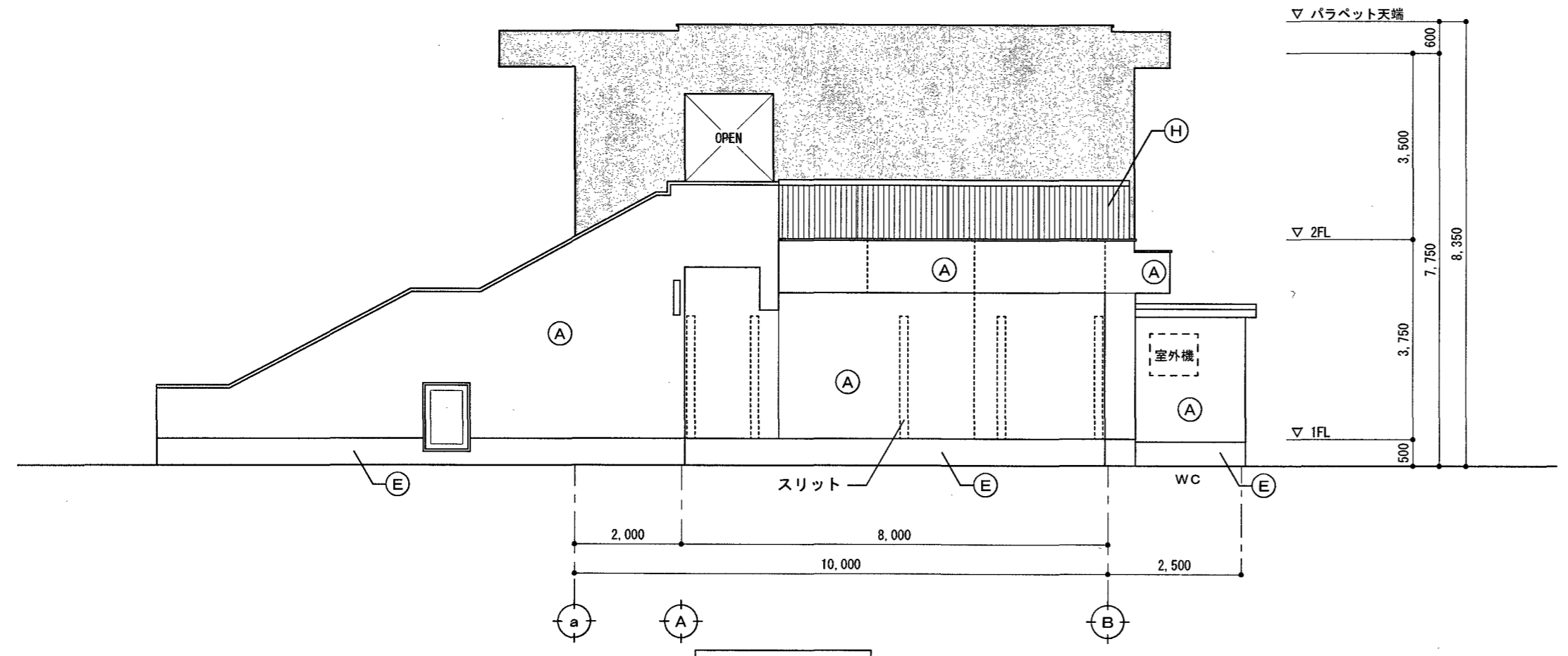
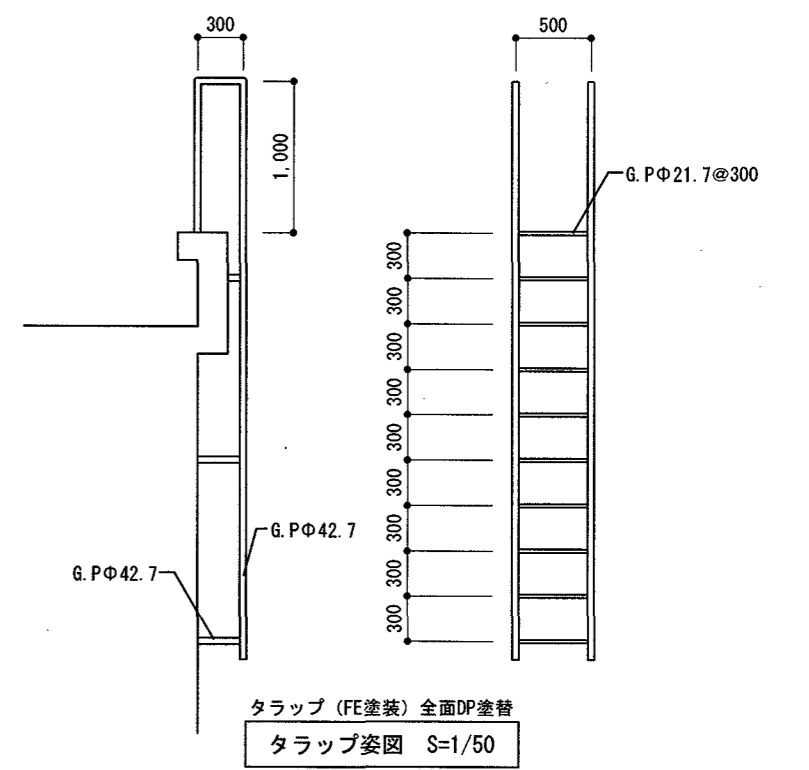
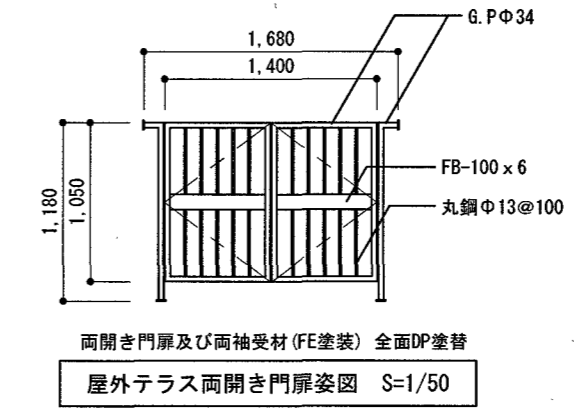
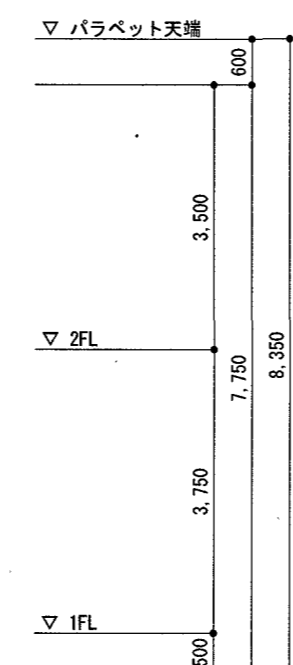
※ サッシ廻りのシーリングは全て (MS-2 15×10) 打替えのこと (二重水切り共)  
 ※ 複層塗材Eは、ゆず肌状・ローラー仕上げとすること

モルタル浮き部分：注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法  
 欠損部分：エポキシ樹脂モルタル充填工法  
 クラック処理部分：(0.2mm以上1.0mm未満) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法  
 (1.0mm超え) Uカットシール材充填工法

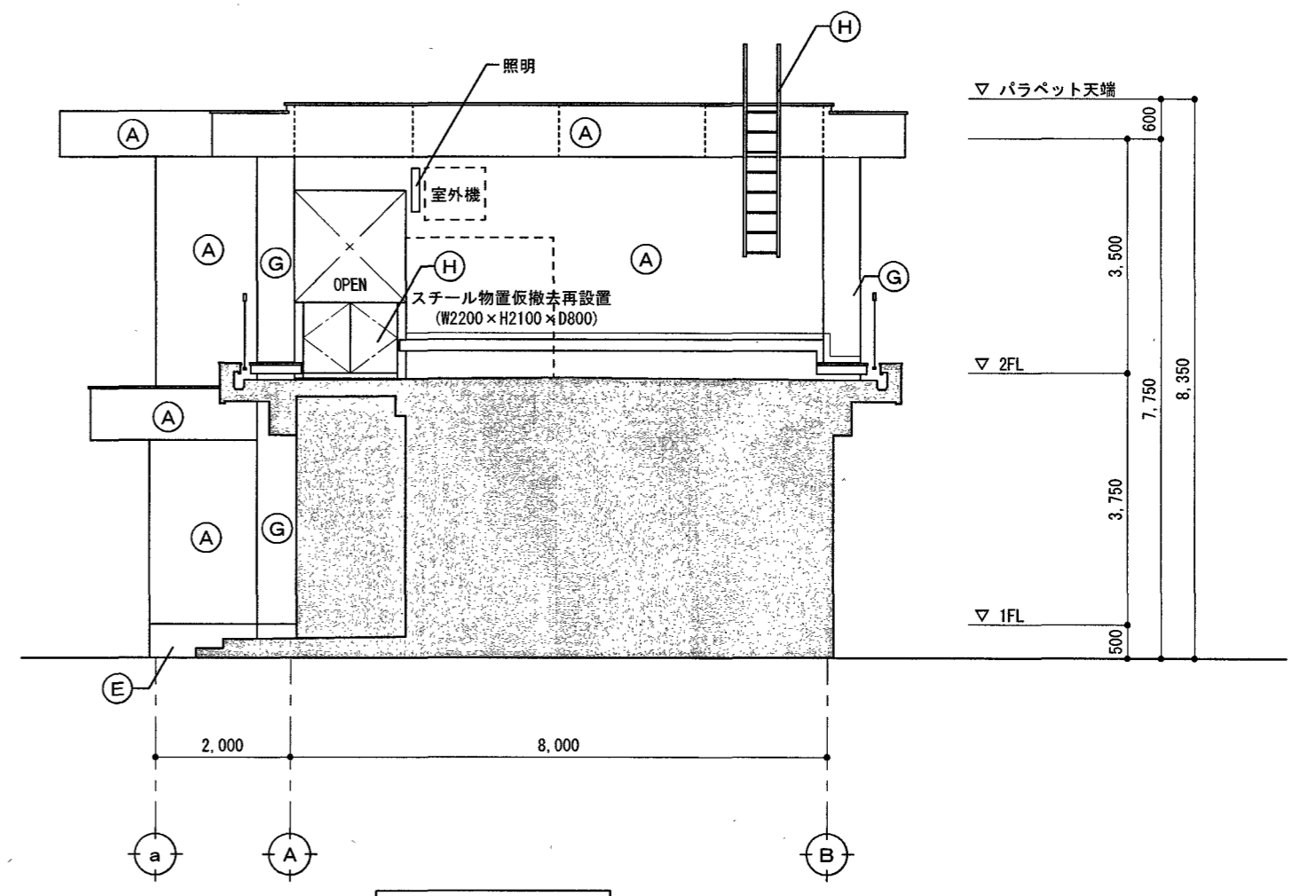
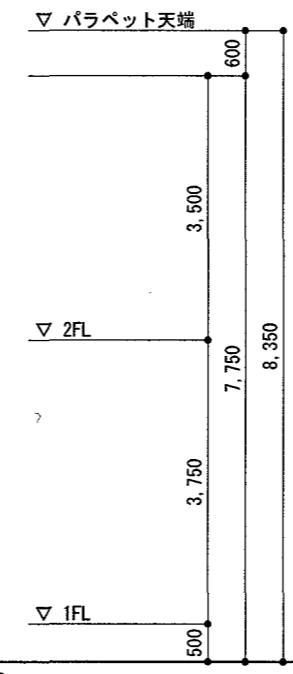
※ 外壁に取り付けられている室外機・配管等は既存存置のまま改修するものとし  
 適切に養生を行うこと。  
 ※ 劣化補修の数量及び工法は予定とし、施工数量調査の結果により監督職員との  
 協議を行い決定する。



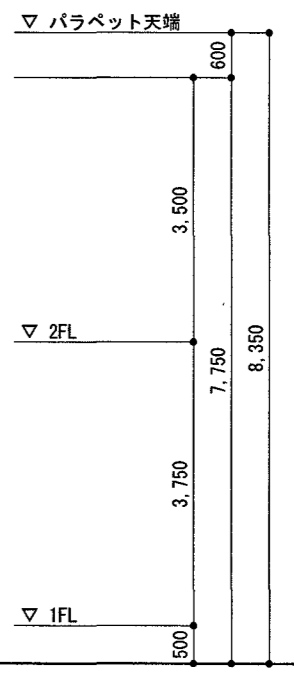
西立面図 S=1/100



東立面図 S=1/100



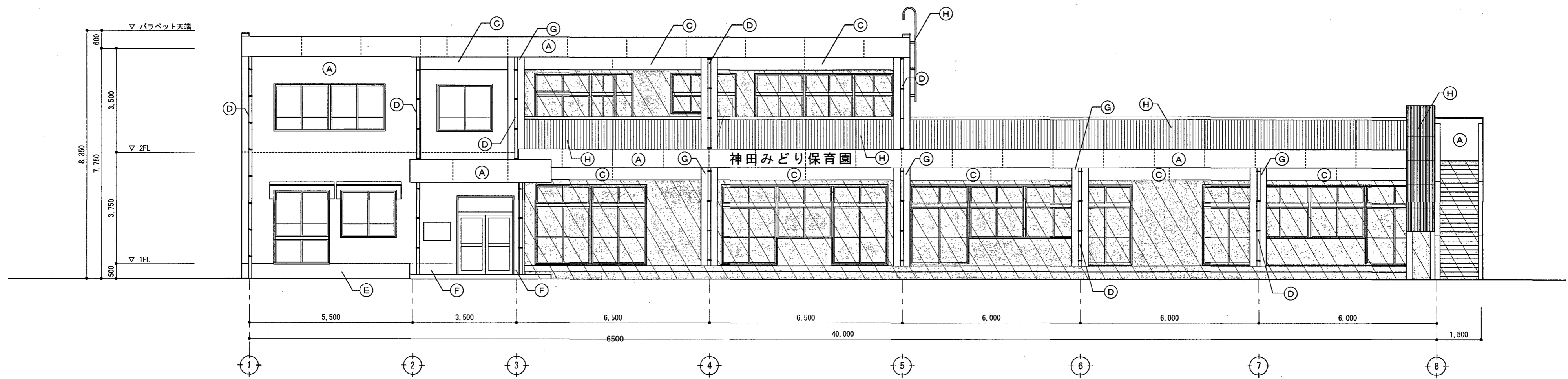
東立面図 S=1/100



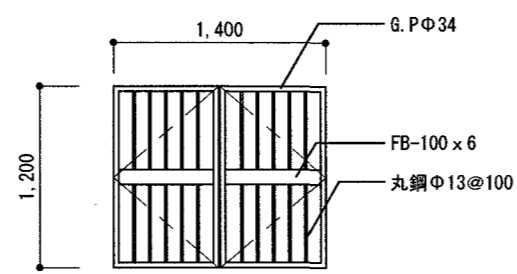
部位	記号	既存仕上表	既存仕上表 (H20年改修内容)	改修後仕上表
外壁	(A)	モルタル下地 アクリルリシン吹付の上複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【改修】
軒天	(B)	コンクリート下地 アクリルリシン吹付の上外装薄塗材E	水洗いの上 外装薄塗材E	水洗い-劣化改修-外装薄塗材E【新設】
梁型	(C)	モルタル下地 複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【改修】
縦樋	(D)	VP100φ (摺り金物@900)	VP100φ (摺り金物@900) FE塗替え【撤去】	カラーVP100φ (SUS摺り金物共)【新設】
根廻	(E)	モルタル刷毛引き仕上	モルタル刷毛引き仕上【既存のまま】	水洗い-撥水剤塗布【改修】
	(F)	二丁掛タイル張り	二丁掛タイル張り【既存のまま】	水洗い【改修】
柱型	(G)	モルタル下地 複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【新設】
屋上ステンール手摺 点検用タラップ 屋上テラス門扉 滑り台フレーム	(H)	FE塗装仕上げ	FE塗装【塗替え】	下地調整-DP塗装【塗替え】

※ サッシ廻りのシーリングは全て (MS-2 15×10) 打替えのこと (二重水切り共)  
 ※ 複層塗材Eは、ゆず肌状・ローラー仕上げとすること

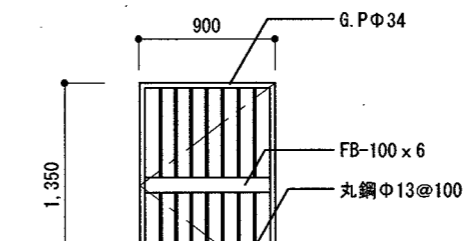




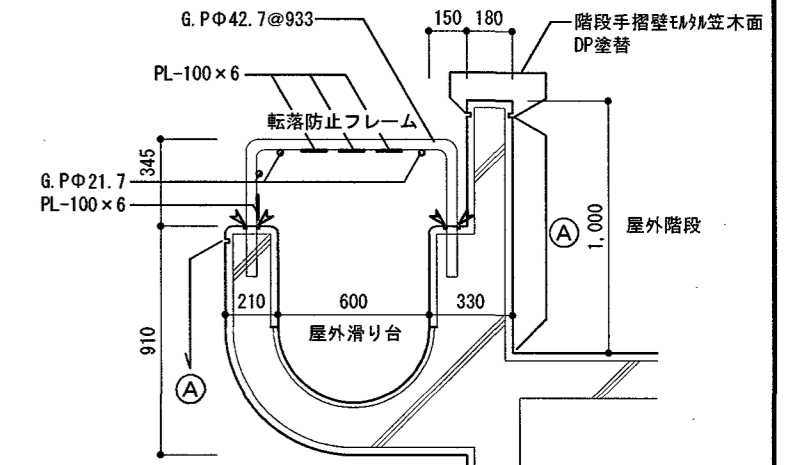
南立面図 S=1/100



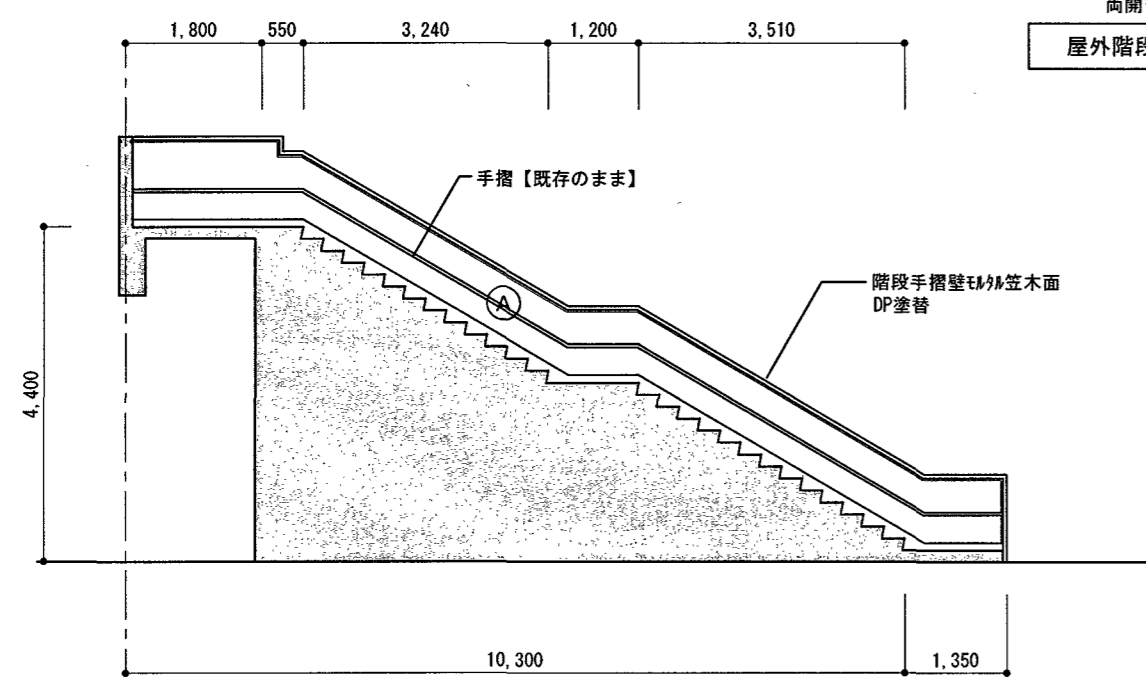
両開き門扉 (FE塗装) 全面DP塗装  
屋外階段両開き門扉図 S=1/50



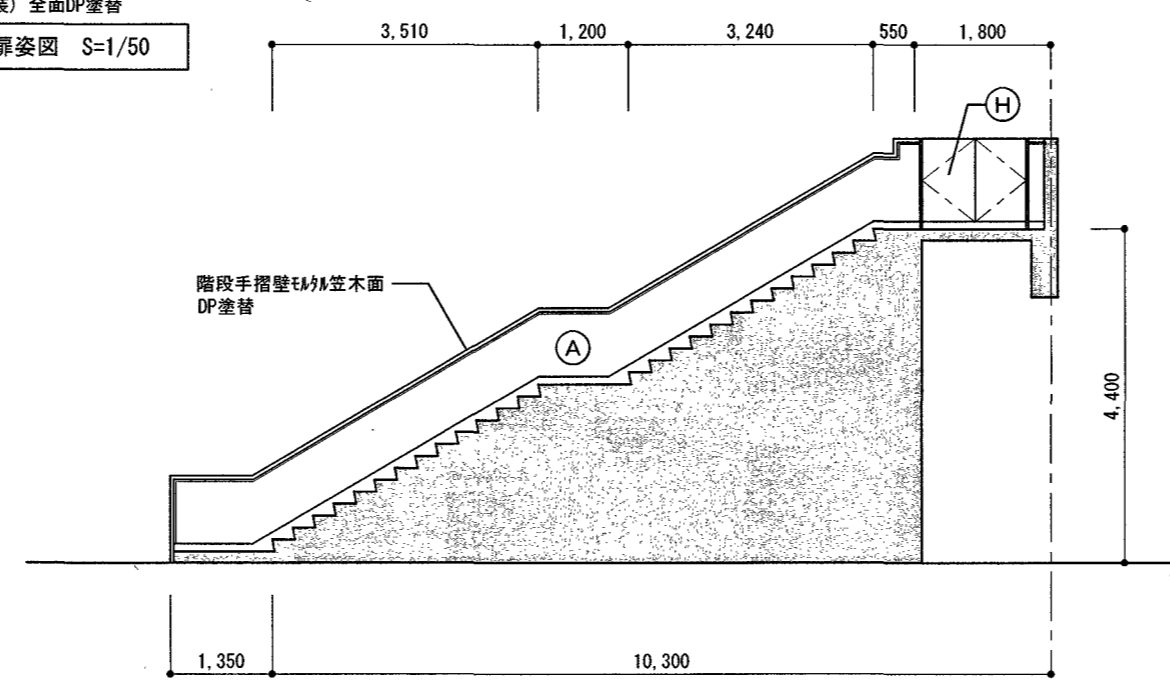
片開き門扉 (FE塗装) 全面DP塗装  
屋外滑り台片開き門扉図 S=1/50



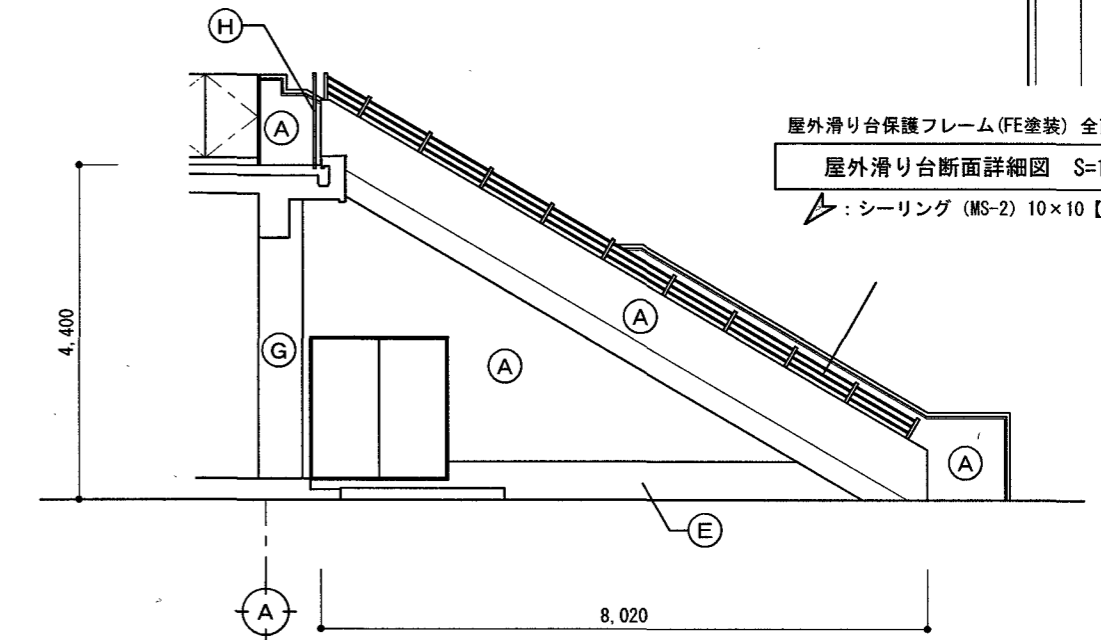
屋外滑り台保護フレーム (FE塗装) 全面DP塗装  
屋外滑り台断面詳細図 S=1/30  
▲: シーリング (MS-2) 10x10 【打替え】



東面



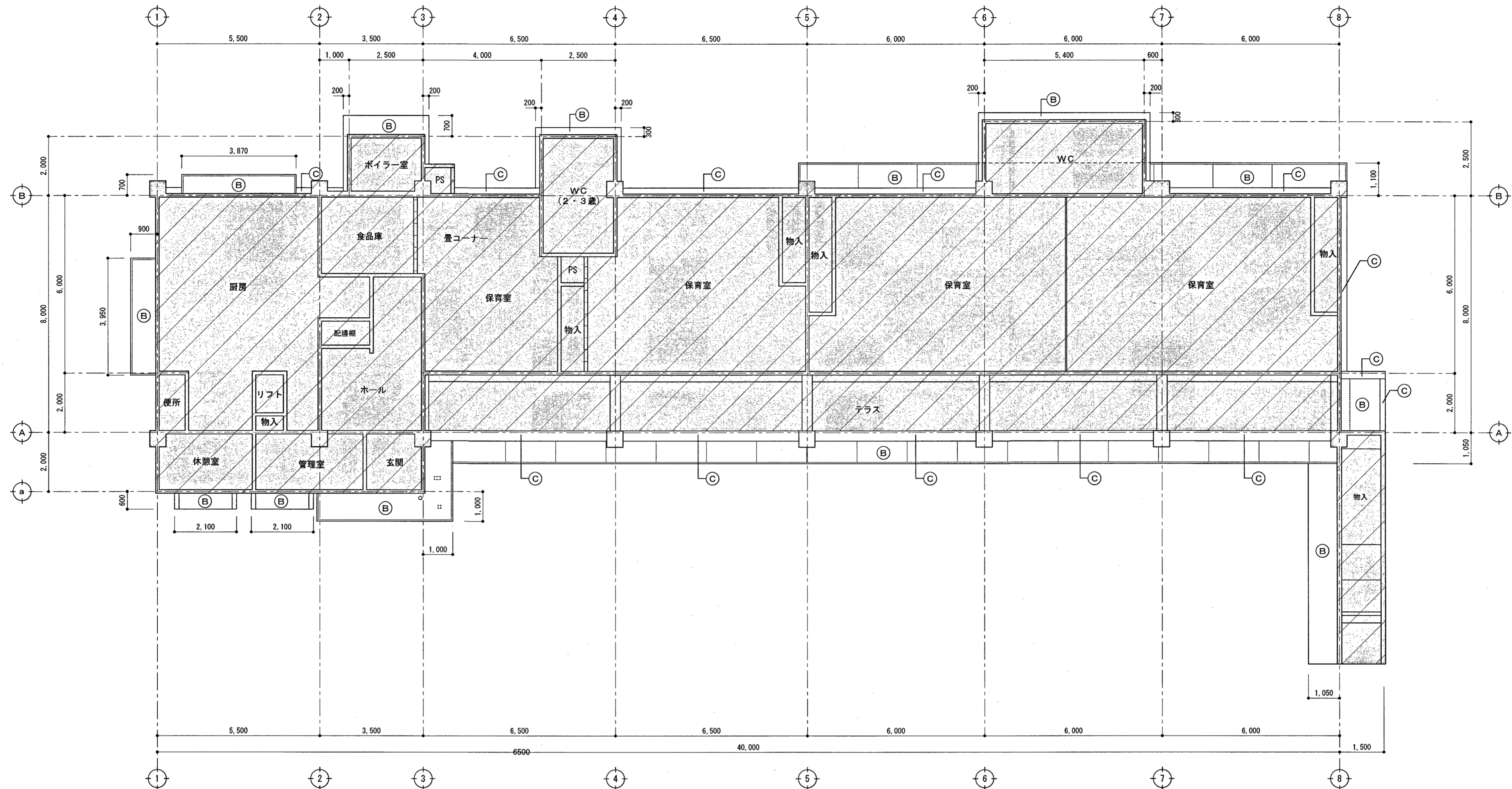
西面



滑り台西立面図 S=1/100

部位	記号	既存仕上表	既存仕上表 (H20年改修内容)	改修後仕上表
外壁	(A)	モルタル下地 アクリルリシン吹付の上複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【改修】
軒天	(B)	コンクリート下地 アクリルリシン吹付の外装薄塗材E	水洗いの上 外装薄塗材E	水洗い-劣化改修-外装薄塗材E【新設】
梁型	(C)	モルタル下地 複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【改修】
壁柱	(D)	VP100Φ (挿み金物@900)	VP100Φ (挿み金物@900) FE塗替え【撤去】	カラーVP100Φ (SUS挿み金物共)【新設】
根廻	(E)	モルタル刷毛引き仕上	モルタル刷毛引き仕上【既存のまま】	水洗い-撥水剤塗布【改修】
	(F)	二丁掛タイル張り	二丁掛タイル張り【既存のまま】	水洗い【改修】
柱型	(G)	モルタル下地 複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【新設】
屋上スチール手摺 点検用タラップ 屋上テラス門扉 滑り台フレーム	(H)	FE塗装仕上げ	FE塗装【塗替え】	下地調整-DP塗装【塗替え】

※ サッシ廻りのシーリングは全て (MS-2 15x10) 打替えのこと (二重水切り共)  
※ 複層塗材Eは、ゆず肌状・ローラー仕上げとすること



1階天井伏図 S=1/100

— 改修工事範囲外

※ 複層塗材Eは、ゆず肌状・ローラー仕上げとすること

部位	記号	既存仕上表	既存仕上表 (H20年改修内容)	改修後仕上表
外壁	(A)	モルタル下地 アクリルリシン吹付の上複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【改修】
軒天	(B)	コンクリート下地 アクリルリシン吹付の上外装薄塗材E	水洗いの上 外装薄塗材E	水洗い-劣化改修-外装薄塗材E【新設】
梁型	(C)	モルタル下地 複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【改修】
縦樋	(D)	VP100Φ (掴み金物@900)	VP100Φ (掴み金物@900) FE塗替え【撤去】	カラーVP100Φ (SUS掴み金物共)【新設】
根廻	(E)	モルタル刷毛引き仕上	モルタル刷毛引き仕上【既存のまま】	水洗い-撥水剤塗布【改修】
	(F)	二丁掛タイル張り	二丁掛タイル張り【既存のまま】	水洗い【改修】
柱型	(G)	モルタル下地 複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【新設】
屋上スチール手摺 点検用タラップ 屋上テラス門扉 滑り台フレーム	(H)	FE塗装仕上げ	FE塗装【塗替え】	下地調整-DP塗装【塗替え】

高知市 都市建設部 公共建築課

係 係長 課長補佐 課長

鈴木 笹岡 松本 田村

工事名 神田みどり保育園外壁等改修工事

図面名 1階天井伏図

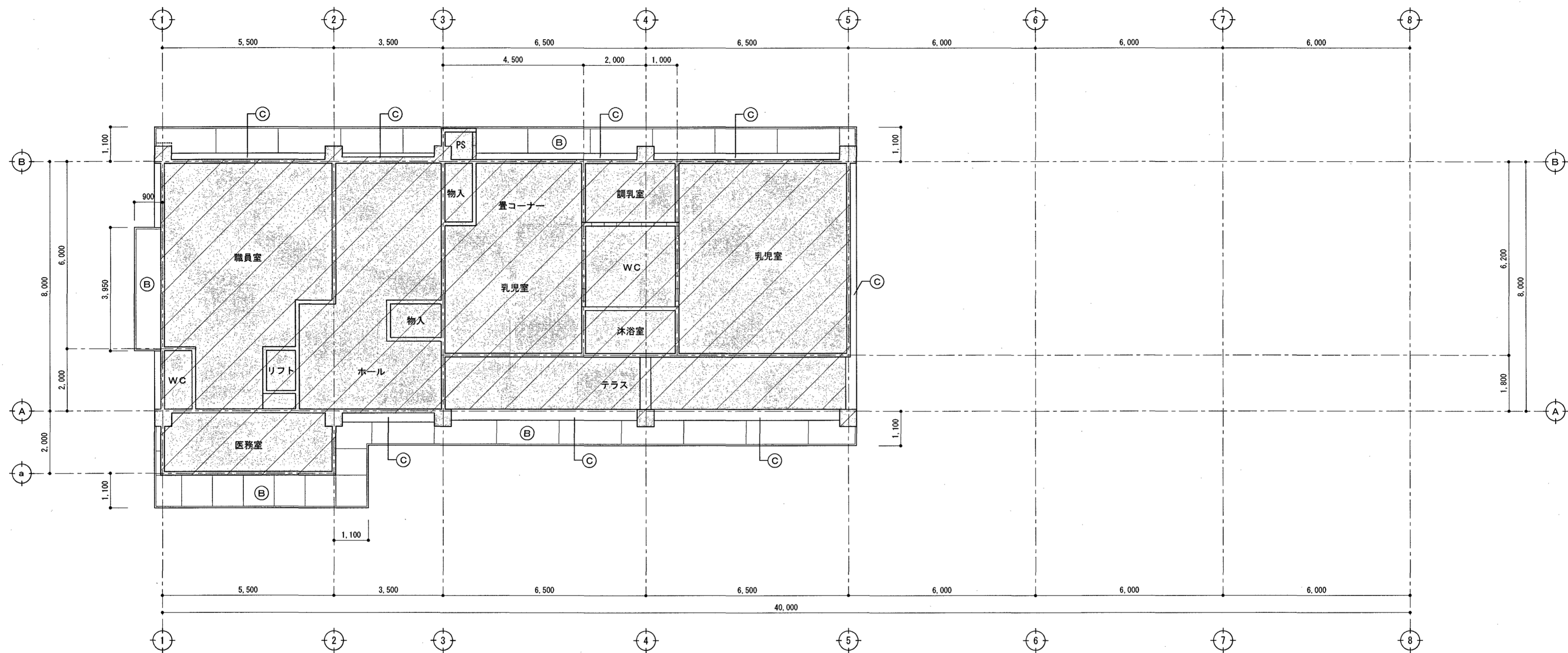
CHECKED BY DRAWN BY Matsumoto

松本琢史建築設計事務所  
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates

— 登録建築士大臣登録第322947号 松本琢史

NO A-14

SCALE 1/100



2階天井伏図 S=1/100 改修工事範囲外

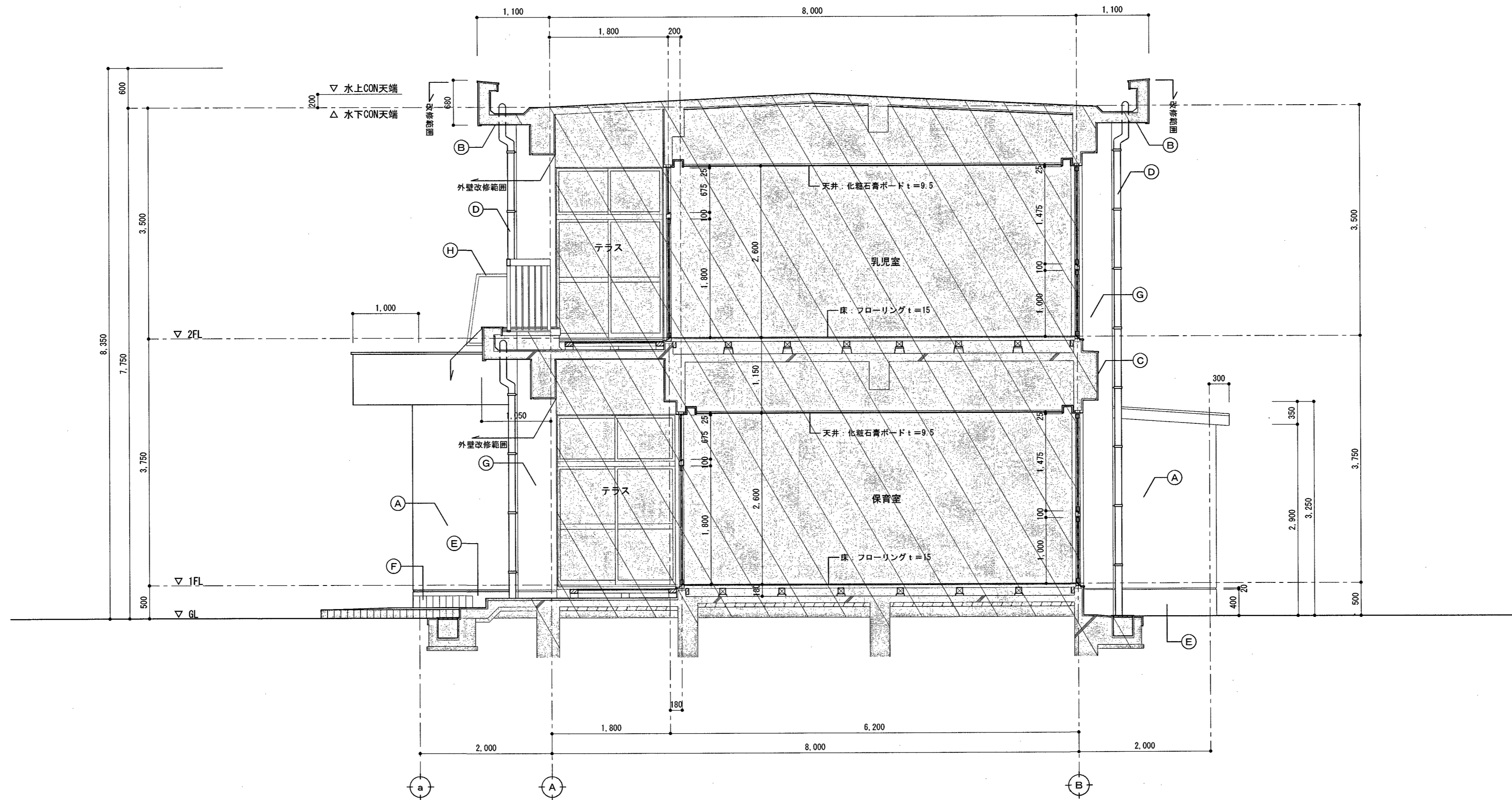
※ 複層塗材Eは、ゆず肌状・ローラー仕上げとすること

部位	記号	既存仕上表	既存仕上表 (H20年改修内容)	改修後仕上表
外壁	(A)	モルタル下地 アクリルリシン吹付の上複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【改修】
軒天	(B)	コンクリート下地 アクリルリシン吹付の上外装薄塗材E	水洗いの上 外装薄塗材E	水洗い-劣化改修-外装薄塗材E【新設】
梁型	(C)	モルタル下地 複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【改修】
縦樋	(D)	VP100Φ (摺り金物@900)	VP100Φ (摺り金物@900) FE塗替え【撤去】	カラーVP100Φ (SUS摺り金物共)【新設】
根廻	(E)	モルタル刷毛引き仕上	モルタル刷毛引き仕上【既存のまま】	水洗い-撥水剤塗布【改修】
	(F)	二丁掛タイル張り	二丁掛タイル張り【既存のまま】	水洗い【改修】
柱型	(G)	モルタル下地 複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【新設】
屋上スチール手摺 点検用タラップ 屋上テラス門扉 滑り台フレーム	(H)	FE塗装仕上げ	FE塗装【塗替え】	下地調整-DP塗装【塗替え】

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 神田みどり保育園外壁等改修工事		松本琢史建築設計事務所 TAKUJIMATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大正登録第322947号 松本琢史	NO A-15
係	係長	課長補佐	課長	図面名 2階天井伏図			SCALE 1/100
				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	

用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%



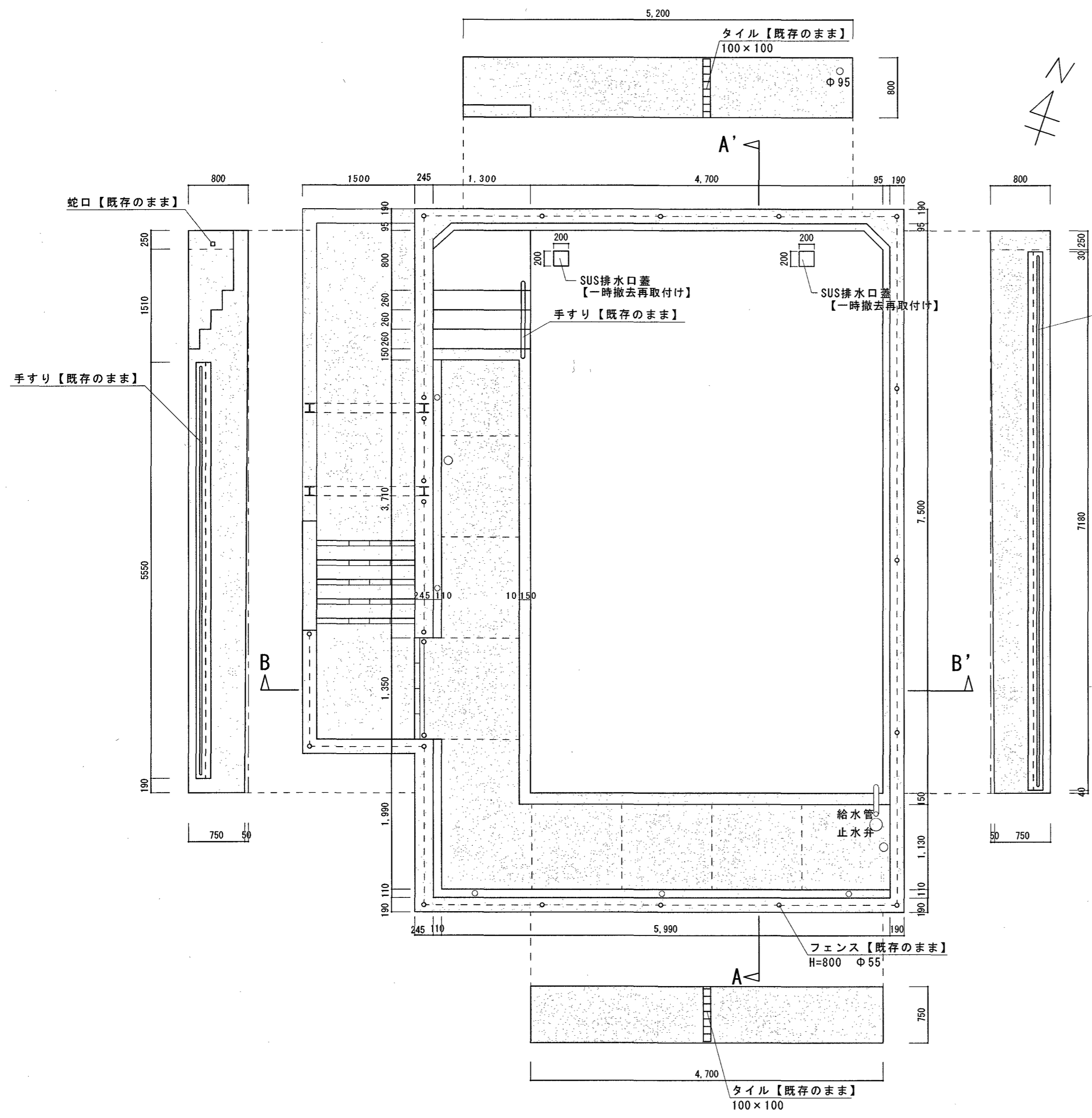


断面詳細図 S=1/50

— 改修工事範囲外

※ サッシ廻りのシーリングは全て (MS-2 15×10) 打替えのこと (二重水切り共)  
 ※ 複層塗材Eは、ゆず肌状・ローラー仕上げとすること

部位	記号	既存仕上表	既存仕上表 (H20年改修内容)	改修後仕上表
外壁	(A)	モルタル下地 アクリルリシン吹付の上複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【改修】
軒天	(B)	コンクリート下地 アクリルリシン吹付の上外装薄塗材E	水洗いの上 外装薄塗材E	水洗い-劣化改修-外装薄塗材E【新設】
梁型	(C)	モルタル下地 複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【改修】
壁種	(D)	VP100Φ (摺り金物@900)	VP100Φ (摺り金物@900) FE塗替え【撤去】	カラーVP100Φ (SUS摺り金物共)【新設】
根廻	(E)	モルタル刷毛引き仕上	モルタル刷毛引き仕上【既存のまま】	水洗い-撥水剤塗布【改修】
	(F)	二丁掛タイル張り	二丁掛タイル張り【既存のまま】	水洗い【改修】
柱型	(G)	モルタル下地 複層塗材E	水洗いの上 複層塗材E	水洗い-劣化改修-下地調整-複層塗材E【新設】
屋上スチール手摺 点検用タラップ 屋上テラス門扉 滑り台フレーム	(H)	FE塗装仕上げ	FE塗装【塗替え】	下地調整-DP塗装【塗替え】



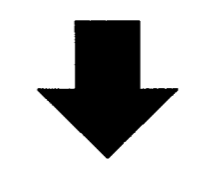
平面図 S=1/50   : 既存のままを表す

劣化状態	工法	予定数量
ひび割れ部 (1mm以上)	Uカットシーリング材充填工法 (可とう性エポキシ樹脂)	5.0m

※工法及び数量は施工数量調査の結果により、設計変更を行う。

改修前

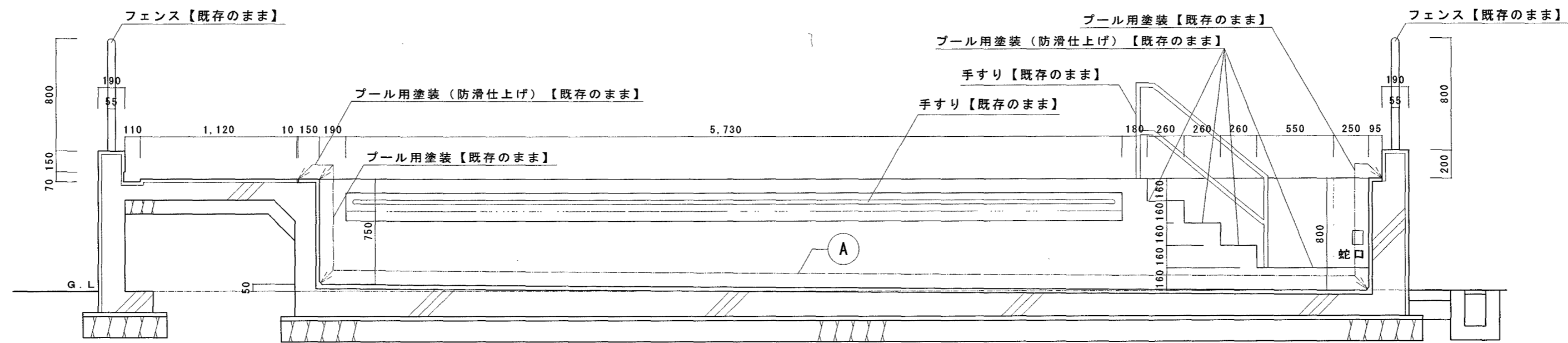
プール (平場)	仕上り: プール用塗装 (防滑仕上げ) 【撤去】
プール (立上り)	仕上り: プール用塗装 【既存のまま】
プールサイド	【既存のまま】
フェンス足元	【既存のまま】
H形鋼足元	【既存のまま】
プール廻り	【既存のまま】
H形鋼 (125×125)	【既存のまま】



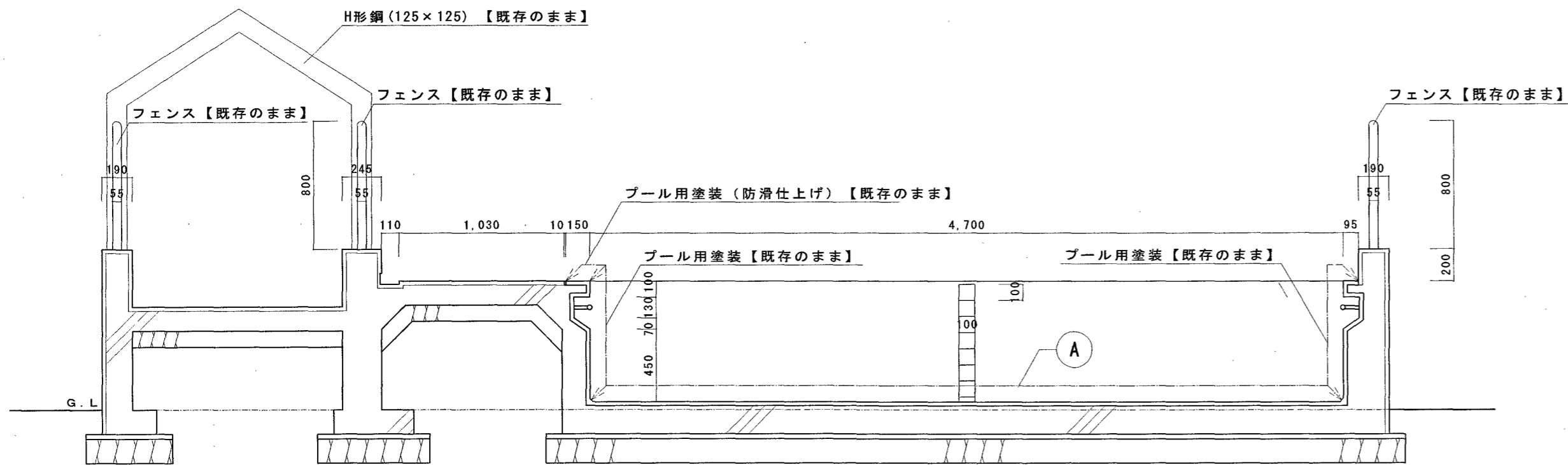
改修後

プール (平場)	下地調整: 水洗い, プール用RA種 【新設】 仕上り: プール塗装ガラスクロスライニング防滑仕様ウレタン樹脂系仕上げ 【新設】
プール (立上り)	【既存のまま】
プールサイド	【既存のまま】
フェンス足元	【既存のまま】
H形鋼足元	【既存のまま】
プール廻り	【既存のまま】
H形鋼 (125×125)	【既存のまま】

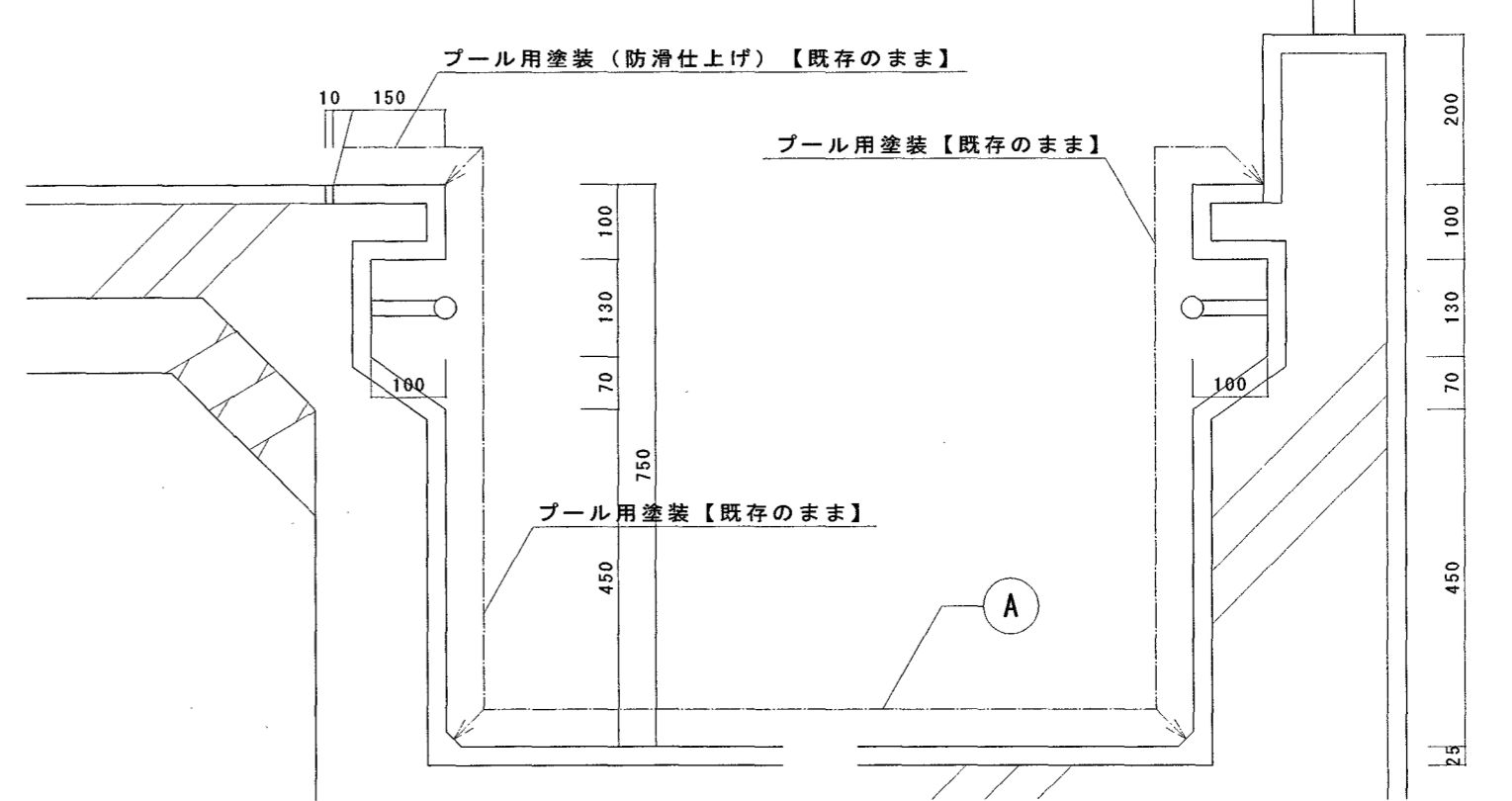
※ライニング用材料は水質 (学校環境衛生基準 (文部科学省告示) に定める基準) に悪影響を与えない材料とする。  
また、防滑性を持たせるために塗装表面に混入する材料は鋭利な角度のない微細珪砂とする。



A-A' 断面図 S=1/30

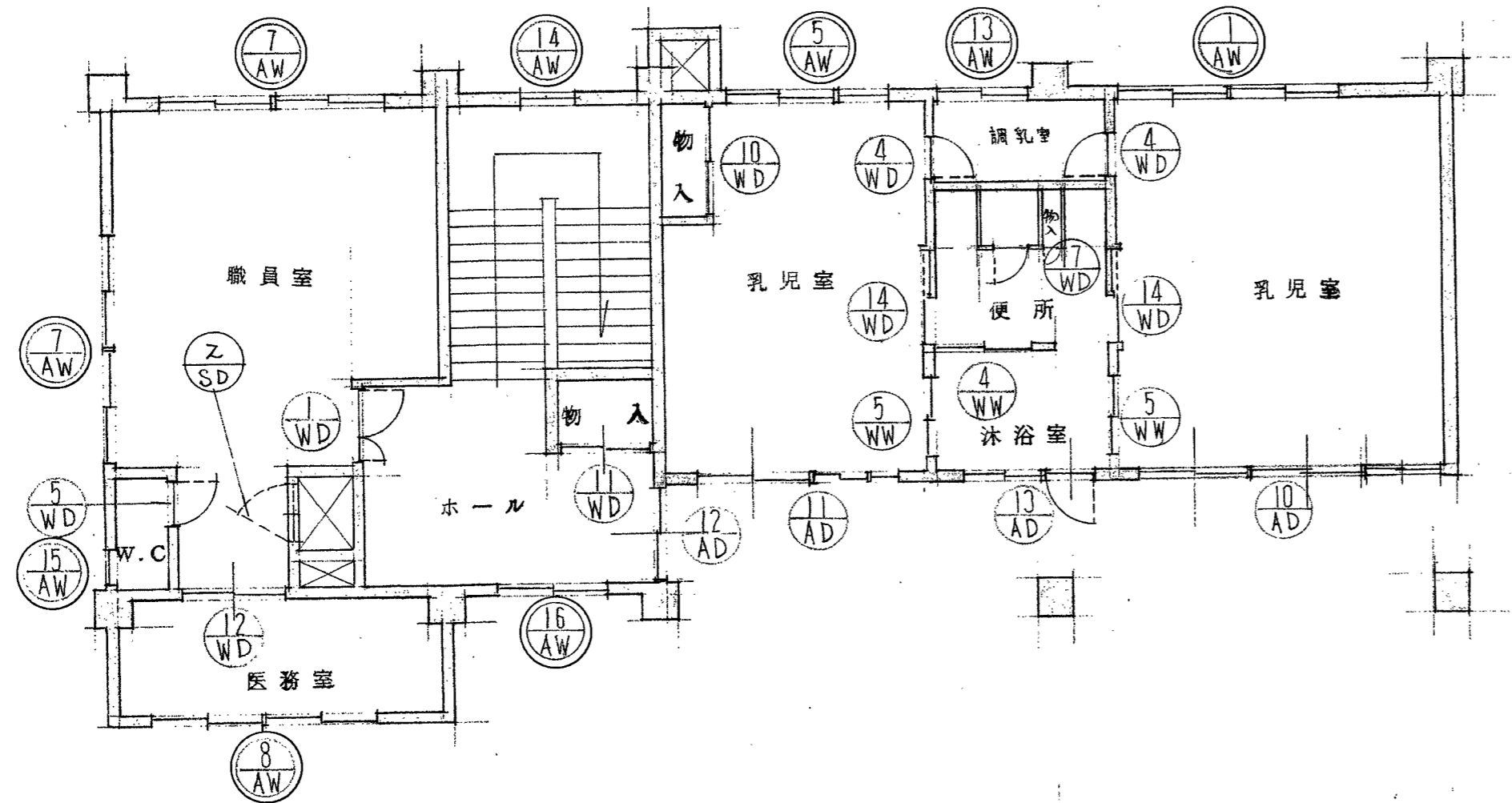


B-B' 断面図 S=1/30

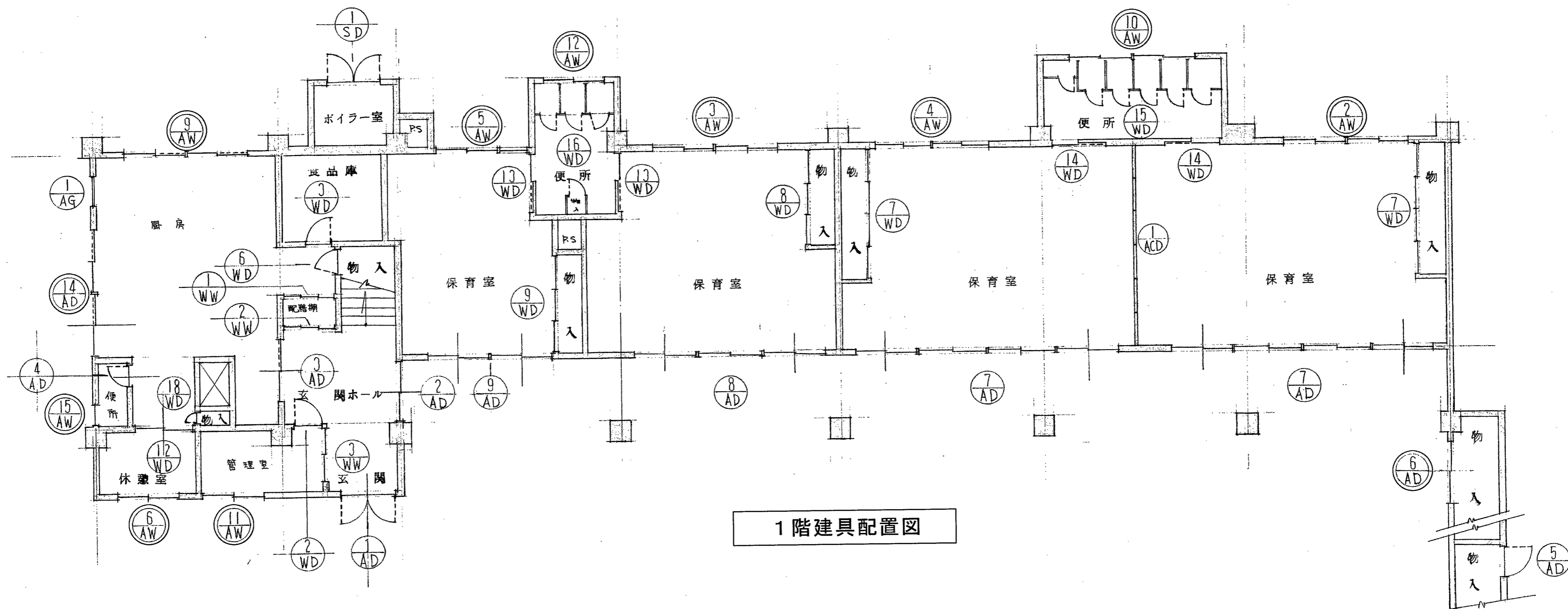


断面詳細図 S=1/10

記号	部位	改修前	記号	部位	改修後
Ⓐ	プール(平場)	仕上り: プール用塗装(防滑仕上げ)【撤去】	Ⓐ	プール(平場)	下地調整: 水洗い, プール用RA種【新設】 仕上り: プール塗装ガラスクロスライニング防滑仕様ウレタン樹脂系仕上げ【新設】



2階建具配置図



1階建具配置図

※外壁面既存サッシ廻りシーリング打替え：MS-2 (15×10) 2重水切り共  
○：二重水切りあり

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 神田みどり保育園外壁等改修工事		松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A-19
係	係長	課長補佐	課長	図面名 既存建具配置図		SCALE 1/100		
鈴木	世岡	松本	松本	CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto		
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%						一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史		



符号 数量 場所 塗 寸法 材質 塗装 見込 金物	① AD	ランマ (Flx ガラス) 付 両開キ戸	② AD	ランマ (外側レマド) 付 引子ガイ戸	③ AD	引子ガイ戸	④ AD	片開キ戸	⑤ AD	片開キ戸				
	14 咫		14 咫		14 咫		14 咫		14 咫					
	玄関		玄関 ホール		厨房		W.C		物入					
	Flx トーメイ 3% DF トーメイ 5% DF トーメイ 6.8%		ランマ トーメイ 3% DF トーメイ 5% DF トーメイ 6.8%		アルミ		アルミ		アルミ					
	アルミカラー		アルミ		70		70		70					
100	1600	2460	1785	1800	1800	1800	600	800						
	ヒボ、ヒボシリンダー、錠、フラスコ、押板、ヒースタンク、ヒースタンク		SUS クレセント、ヒースタンク、SUS レール、SUS 押、SUS 二重水切、錠		アルミ、ヒースタンク、SUS 引子、網戸付		SUS サムランロック錠、SUS 寸蓋 127% 2枚、アルミヒースタンク		SUS 寸蓋 82% 2枚、SUS 寸蓋					
⑥ AD	⑦ AD	⑧ AD	⑨ AD			⑩ AD			⑪ AD			⑫ AD		
14 咫	24 咫	14 咫	24 咫			14 咫			14 咫			14 咫		
物入	保育室	保育室	保育室			保育室			保育室			保育室		
アルミ	アルミ	アルミ	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ		
70	70	70	70			70			70			70		
1800	1800	1800	1800			1800			1800			1800		
			7.410			5.540			5.540			1.570		
			SUS クレセント、引子、美込錠、出入口向き (アジャスター錠)、SUS レール、SUS 押、ヒースタンク、SUS 水切			SUS クレセント、引子、美込錠、出入口向き (アジャスター錠)、SUS レール、SUS 押、ヒースタンク、SUS 水切			SUS クレセント、引子、美込錠、出入口向き (アジャスター錠)、SUS レール、SUS 押、ヒースタンク、SUS 水切			SUS クレセント、引子、美込錠、出入口向き (アジャスター錠)、SUS レール、SUS 押、ヒースタンク、SUS 水切		
⑬ AD	⑭ AD	⑮ AD	⑯ AD			⑰ AD			⑱ AD			⑲ AD		
14 咫	14 咫	14 咫	14 咫			14 咫			14 咫			14 咫		
浴室	乳児室	乳児室	乳児室			乳児室			保育室			保育室		
アルミ	アルミ	アルミ	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ		
70	70	70	70			70			70			70		
1300	1800	1800	1800			1800			1800			1800		
			3.670			3.470			3.670			3.670		
			SUS クレセント、SUS ロック錠、SUS 押、SUS 寸蓋 127% 3枚、SUS 引子、アルミ二重水切、スライダ、押板用カギ、SUS 水切			SUS クレセント、引子、二重水切、ヒースタンク			SUS クレセント、引子、二重水切、ヒースタンク			SUS クレセント、引子、二重水切、ヒースタンク		

※外壁面既存サッシ廻りシーリング打替え：MS-2 (15×10) 2重水切り共

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名 神田みどり保育園外壁等改修工事

松本琢史建築設計事務所  
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates

NO A-20

係 係長 課長補佐 課長

図面名 建具表 1

SCALE

鈴木 菅岡 松本 松村

CHECKED BY

DRAWN BY

Matsumoto

NO SCALE

用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%

一級建築士大臣登録第 322947 号 松本琢史

符号	④ AW	⑤ AW	⑥ AW	⑦ AW			
数量	14 脚	24 脚	14 脚	24 脚			
場所	保育室	乳児室	休養室	職員室			
窓図	上段 ト-MIX 5% 下段 型 4%	全 大	上段 ト-MIX 5% 下段 77% 枠-6.8%	ト-MIX 5%			
寸法	1.615 70 1.615 3.300	1.800 70 600 2.470	1.800	1.800 70 1.800 3.670			
材種	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ			
塗装							
見込	70	70	70	70			
金物	(SUS) クレセント 引手 (SUS) 二重水切 (SUS) ビスアングル	全 大	全 大	全 大			
⑧ AW	⑨ AW	⑩ AW	⑪ AW				
14 脚	14 脚	14 脚	14 脚				
医務室	厨房	便所	管理室				
ト-MIX 5%	型 4%	型 4%	ト-MIX 5%				
アルミ	アルミ	アルミ	アルミ				
70	70	70	70				
(SUS) クレセント 引手 (SUS) 二重水切 (SUS) ビスアングル	全 大	全 大	全 大				
⑫ AW	⑬ AW	⑭ AW	⑮ AW	⑯ AG	⑰ AD		
14 脚	14 脚	14 脚	14 脚	14 脚	14 脚		
便所	調乳室	階段室	厨房	厨房	厨房		
型 4%	型 4%	ト-MIX 5%	アルミ	アルミ	型 4%		
アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ		
70	70	70	70	70	70		
(SUS) クレセント 引手 (SUS) 二重水切	全 大	70 二重水切 (SUS) ビスアングル	アルミ 1.980 900 900 700 FIX 700 100 100 700	ガラス用網貼 一式 防虫網貼	(SUS) クレセント 引手 (SUS) 二重水切 (SUS) レール (SUS) 框 70 二重水切 (SUS) ビスアングル 網戸付		
⑱ AW	⑲ SD	⑳ WD	㉑ WD	㉒ WD	㉓ WD	㉔ WD	㉕ WD
14 脚	14 脚	14 脚	14 脚	14 脚	24 脚	14 脚	14 脚
ホール	ボイラ室	職員室	管理室	食品庫	調乳室	便所	便所
型 4%	スチール 1.6% (両面) 77% 網戸	FIX 型 4% 木製 帯口 ホリ合板 4% (両面) フラッシュ	FIX 型 4% 木製 帯口 ホリ合板 4% (両面) フラッシュ	木製 帯口 (内面) 網戸 4% (外) 網戸 4% 77% 網戸	FIX 型 4% 木製 帯口 ホリ合板 4% (両面) 77% 網戸	FIX 型 4% 木製 帯口 ホリ合板 4% (両面) 77% 網戸	FIX 型 4% 木製 帯口 ホリ合板 4% (両面) 77% 網戸
アルミ	F.E	枠 O.P	枠 O.P	枠 O.P	枠 O.P	枠 O.P	枠 O.P
70	100	36	36	36	36	36	36
(SUS) クレセント 引手 (SUS) 二重水切 (SUS) ビスアングル	SUS ドック錠 77% 網戸 ビスアングル	SUS 127% 3枚用 SUS ドック錠 フランス産シ ドレチェック	SUS 127% 3枚用 SUS ドック錠 ドレチェック	全 大	SUS 127% 3枚用 SUS 錠 SUS 錠 ドレチェック	SUS 127% 3枚用 SUS 錠 SUS 錠	SUS 127% 3枚用 SUS 錠 SUS 錠

※外壁面既存サッシ廻りシーリング打替え: MS-2 (15×10) 2重水切り共

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名 神田みどり保育園外壁等改修工事

松本琢史建築設計事務所  
TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates

NO A-21  
SCALE NO SCALE

係 係長 課長補佐 課長  
鈴木 曾岡 松本 村

図面名 建具表2

CHECKED BY DRAWN BY Matsumoto

一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%